

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

岐阜県 本巣市

自治体名：岐阜県 本巣市

担当課名：教育委員会 社会教育課

電話番号：058-323-7764

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	374.65 km ²
人口	32,906 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	913 人
部活動数	34 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、当市の運動部活動は、陸上部、軟式野球部、男女バスケットボール部、男女バレーボール部、男女ソフトテニス部、卓球部、剣道部、柔道部、女子ソフトボール部、サッカー部、バドミントン部の34部が活動している。そして、令和4年度より、休日の部活動はすべての学校において、地域に移行して実施している。

市内4校の内訳はA中学校7部、B中学校14部、C中学校11部、D義務教育学校2部であり学校規模により差がある。また、D義務教育学校は市の中心部より25kmほど離れた場所に設置されている。そのため、活動種目が制限されたり、大会会場への生徒の輸送等に課題がある。

さらに、市全体の生徒数が減少し、軟式野球部、サッカー部、女子ソフトボール部は他の中学校と合同チームを編成して大会に参加している。また、今年8月より女子バレーボール部も合同

チームを編成することとなった。さらには、男子ソフトテニス部については、休部している学校もある。今後も少子化が進むことが予想され、特に団体競技における人数確保が課題となっている。

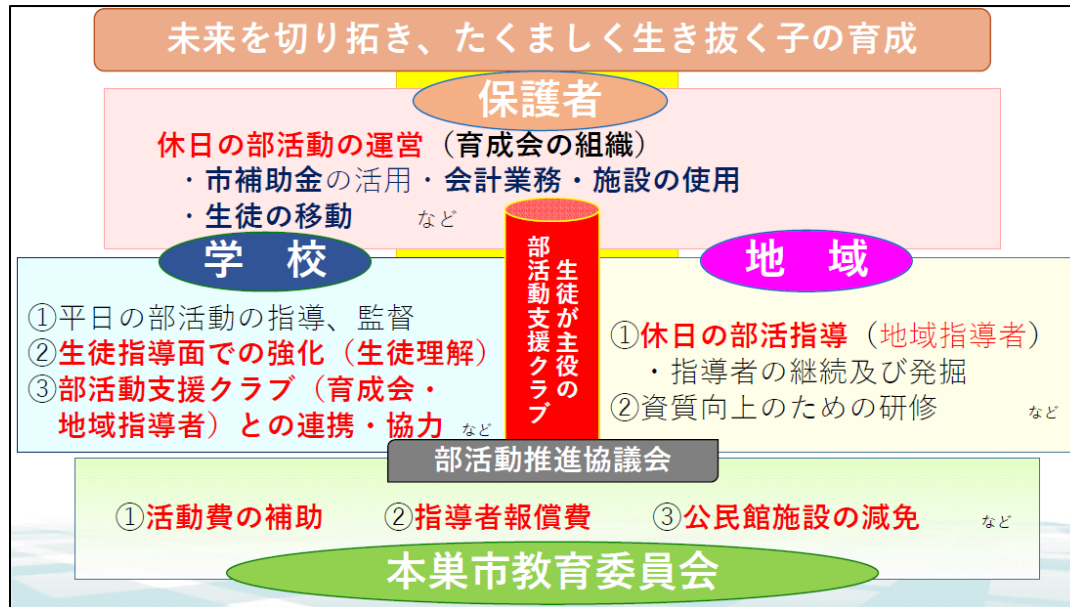
現在は、スポーツ活動に親しむことができる機会を確保したり、少しでも多様な体験機会を確保したりするために、他校と合同で活動したり、部活動が設置されていない学校の生徒が他校の部活動に加入できる体制を整備しているが、さらに近隣市町との協力体制が必要であると考えている。

また、現在はすべての部活動に地域指導者を配置することができている。しかし、今後指導者の高齢化による指導者の減少が予想される。さらに指導者の負担を軽減するためにすべての部において複数配置ができるよう指導者の確保が今後の課題である。

2.実証内容と成果①

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（社会教育課）

- ・「本巣市部活動推進協議会」事務局の設置
（活動費の補助、指導者報償費、指導者研修会の開催等）
- ・施設使用に係る減免措置
- ・学校との連携
- ・育成会との連絡相談

年間の事業スケジュール

令和6年度 本巣市部活動推進協議会 事業計画

月 日	曜	事業内容	会場	備考
4月5日	金	役員会 ・規約及び細則の改正 ・令和5年度事業報告及び決算報告 ・令和6年度事業計画案及び予算案	真正分庁舎 2F大会議室	19時～
4月12日	金	推進協議会 総会 ・規約及び細則の改正 ・令和5年度事業報告及び決算報告 ・令和6年度事業計画案及び予算案	本庁舎 2F大会議室	19時～
未定	日	県指導者育成研修会1 ①部活動指針、部活動ガイドラインに沿った研修 ②スポーツ医・科学に関する研修	未定	
7月～8月		中体連大会視察及び応援	各会場	
8月18日	日	市指導者・育成者研修会1 講師：川治 秀輝 本巣市教育長	糸貫 ぬくもりの里	10時～
8月～9月		支援クラブ会計中間報告	新庁舎 (予定)	随時
未定	日	県指導者育成研修会2 ③効果的なスポーツ・文化活動の指導方法についての研修	未定	
1月～2月		支援クラブ会計報告	新庁舎 (予定)	随時
2月16日	日	市指導者・育成者研修会2 講師：馬淵 恵 氏 公認スポーツ栄養士	本巣市民文化 ホール	9時～
3月21日	金	会計監査	新庁舎 (予定)	19時～

2.実証内容と成果②

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	4 校	実施した地域クラブ総数	35 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		34 クラブ（34 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1 クラブ
全体の指導者数	79 人	全体の運営スタッフ数（育成会長）	35 人

②運営団体に関すること(一部抜粋)

団体名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
本巣市部活動推進協議会	市町村運営型	陸上、軟式野球、男女バスケットボール、男女バレーボール、男女ソフトテニス、卓球、剣道、柔道、女子ソフトボール、サッカー、バドミントン	月 4 回／ 週 1 回 祝日	8 時～ 18 時 のうちの 3 時間	3 年153名 2 年157名 1 年156名	4 月 1 日 ～ 3 月 3 1 日	市内学校 施設 社会体育 施設	79 人	事務局員数 4 人 (内、兼務4 人)	年会費 200 円	中体連：部 活動 その他：地域 クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●本巣市部活動支援クラブ指導者・育成者研修会の実施

●地域クラブによる募集チラシ（含む体験会案内）の配付

2.実証内容と成果③

主な取組例

●本巣市部活動支援クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上、軟式野球、男女バスケットボール、男女バレーボール、男女ソフトテニス、卓球、剣道、柔道、女子ソフトボール、サッカー、バドミントン
運営団体名	本巣市部活動推進協議会
期間と日数	4月1日～3月31日 土日のどちらか1日及び祝日 月4～6回程度
指導者の主な属性	地域指導者
活動場所	市内学校施設及び社会体育施設
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	部活動推進協議会に市登録費として 年間200円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：「部活動推進協議会」を統括し、学校・保護者・地域指導者・市教育委員会との連携を図る

●地域指導者 79名

役割：生徒のニーズに応える質の高い専門的な技術指導と子供たちの将来、人格形成の一端を担うという誇りと自覚をもった適切な休日の部活動指導を行う

●運営補助者（育成会長） 35名

役割：市補助金の活用、会計業務、施設使用の管理・責任、生徒の輸送等を行う

2.実証内容と成果④

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

部活動特任指導員を1名配置し、「本巣市部活動推進協議会」事務局員として、学校・部活動支援クラブ育成会・地域指導者・施設管理者等との連絡調整などを行う。また、育成会へのクラブ活動費や指導者報償費等の会計業務を行う。

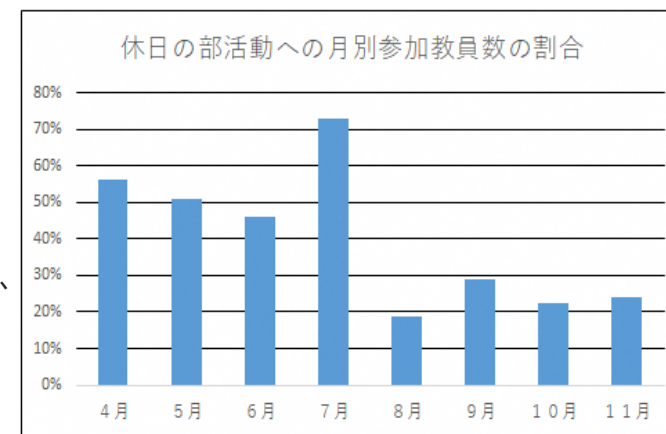
すべての地域クラブに対して地域指導者を配置することにより、教職員の休日の部活動への負担軽減を図る。

取組の成果

休日の部活動を地域移行して3年目を迎え、育成会ごとに事務引継ぎが適切に行われるようになり、会計業務に対する問い合わせは若干あるが、施設使用に関することや対外試合への参加、生徒の安全管理など「本巣市部活動推進協議会」への問い合わせはほぼない状況である。

本市では学校に対して、生徒理解を深め生徒指導上の諸問題に対応するために、必要に応じて「部活動支援クラブ応援者」として顧問以外の部活動も含め、休日の地域クラブ活動の生徒の様子を把握するよう、教職員に依頼している。そのため、年度初めや中学校総合体育大会の開催月は、休日の部活動に参加している教職員の割合が高い。しかし、地域指導者数がこの3年間で45名から79名まで増えたこともあり、技

術指導への負担が減り、教職員は時間に束縛されることがなくなり安心して活動を参観することができ、日常の学校生活の指導に生かすことができています。



(休日の部活動を指導している教職員を含む)

部活動特任指導員の具体的な動きの実績

- ・「部活動推進協議会」を開催し、学校・部活動支援クラブ育成会・地域指導者・施設管理者等との連携に努めた。また年間計画に基づき事業を実施した。
- ・各種大会を参観し、生徒の活動を視察・激励するとともに、地域指導者との会話に努めた。

今後の課題と対応方針

少子化の進行により、チーム編成が困難になる状況に対して、近隣市町の地域移行の状況を把握しながら、いかに連携を図り生徒が望む競技に打ち込めるための体制づくりが重要であると考えます。

勝利至上主義のクラブチームと生徒の活動を支える地域クラブとの共存にいかに対応していくかを考える。

2.実証内容と成果⑤

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

・令和3年9月に、これまで休日の部活動をしていただいていた「社会人指導者」の方に対して、地域移行しても引き続き指導していただくように依頼した。

・年2回、「指導者・育成者研修会」を実施し、資質向上に努めた。

・育成会、指導者に対して、指導者の発掘を依頼した。

地域指導者の人数

79名

地域指導者の年齢構成

10代	0名
20代	12名
30代	11名
40代	21名
50代	23名
60代以上	12名

登録者属性

職業	
会社員	68名
学生	3名
市外教員	3名
その他	5名
令和3年度	45名
育成会推薦等	34名

種目

陸上、軟式野球、
男女バスケットボール、
男女バレーボール、
男女ソフトテニス、
卓球、剣道、柔道、
女子ソフトボール、
サッカー、バドミントン

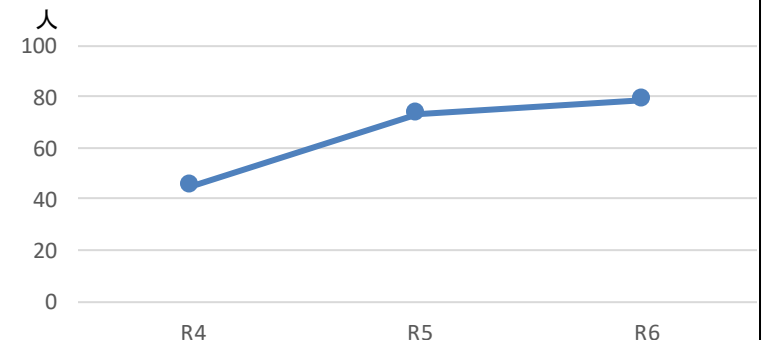
資格有無

岐阜県指導者認定者
令和4年度 23名
令和5年度 27名
JSPO認定等指導者
33名

取組の成果

- ・令和6年度、新たに6名の方の指導者登録があった。
- ・年2回、指導者・育成者研修会を実施し、各回平均86名の参加があった。
(令和5年度)
- ・今年度の第1回の参加者は102名であり、第2回は2月16日に実施予定である。
- ・指導者の資質向上を図るため、全指導者が令和7年度中に指導資格(JSPO・県認定書等)を取得すること等、地域指導者の認定基準を明確にした。

地域指導者数の推移



2.実証内容と成果⑥

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

【第1回本巣市部活動支援クラブ指導者・育成者研修会】

令和6年8月18日（日）

・演 題：「これからの時代を生き抜く生徒を育てよう」

～部活動における大人の役割～

・講 師： 本巣市教育委員会 教育長 川治 秀輝 様

【第2回本巣市部活動支援クラブ指導者・育成者研修会】

令和7年2月16日（日）開催予定

・演 題：心と身体を育てる「食」

～中学生期における食管理と栄養を通して～

・講 師： 一般社団法人食アスリート協会 主任講師

管理栄養士・公認スポーツ栄養士 馬淵 恵 様

指導者研修の参加実績

【第1回本巣市部活動支援クラブ指導者・育成者研修会】

・参加人数： 102名

指導者：32名、育成者：44名、学校関係者：18名

教育委員会：8名

令和4、5年度に各2回「指導者・育成者研修会」を実施し、合計
364名が参加した。

受講者の声

- ・社会の変化とこれからの教育の2つの側面から話をされ、その中でも運動が様々な発達に寄与し、幼児期からの運動経験が大切だとわかりました。
- ・本巣市の部活動改革の一端を担う「地域指導者」の1人として、子どもを主語にする指導が必要であると感じることができました。「自分の言葉」で語り、「考え創り出す力」を付けたいと思いました。そして社会で生きる力を子どもたちに身に付ける指導をしたいと思いました。
- ・我々地域指導者が「当事者」となり、子どもを育てていきたいです。理想の部活動をつくるため、異年齢が集まった集団や活動を行い、新しい部活動の形を市と共に考えていきたいです。

今後の課題と対応方針

- ・部活動支援クラブ指導者として登録している地域指導者全員が研修会への参加が望ましいが、普段の指導に加えてさらに悉皆研修会とすることに不安を感じている。来年度は、2回の研修会のうち1回は参加するように求めていく。
- ・著名な講師を招き、さらに充実した内容や参加者の増加を図りたいが、講師料を市の予算として継続的に確保することが困難である。

指導者・育成会資料

一人一人の子どもたちの 「いのち」を大切に！

～安心・安全な「部活動支援クラブ」を目指して～



1 事故の防止について	P1
2 熱中症の予防について	P1
3 事故への対応について	P3
4 子ども一人一人の「いのち」を大切にしたい指導について	P7
【参考資料】 知っておきたい応急手当	P10

本巣市部活動推進協議会



指導者研修資料

R4.4

(2) 素敵な指導者に

「できるようになりたい」「好かれない」「認められたい」このような子どもたちの思いが学びの土台となるものです。その子どもたちが主役となるためには、指導者が子どもたちのために「何を教えるのか」「どう教えるのか」を学び続けていきたいものです。さらに、できた事実に基づいてたくさん誉め、明るい「はい」や「ありがとう」のことがとびかい、笑顔の渦が広がるようにしていきたいものです。

① 子どもが主役 ～部活動（支援クラブ）は子どもたちのためにある～

目標に向かって努力し、結果を残したのは子どもたち自身であり、指導者は子どもたちを陰で支えてきたことに、誇りをもてるようにしたいです。

② 「教える」

教えるという営みの中に、「論ず」「言い聞かせる」「問いかける」「納得させる」「自分で考え、気付かせる」といった価値を盛り込むようにしたいです。

また、活動を通して心身の健全な育成を促すとともに、達成感や連帯感を育むようにしていきたいです。くじけそうなときに乗り越えることができるのは「仲間の力」が大きいです。そのためにも、指導者と子ども・保護者との相互理解のもと、年齢や技術の習熟度、個人差、健康状態等を総合的に考えて指導に当たるようにしたいです。

③ 「勝利至上主義」から「勝敗主義」へ

「優勝」「県大会出場」などの目標が、厳しい練習などを乗り越える大きな原動力となります。しかし、子どもたちが楽しさを味わっているのは「勝敗」を競い合っているその瞬間にもあることを忘れてはならないです。「勝利」を目指しつつ、勝敗・競争そのものを楽しむことがスポーツです。勝利を目指して子どもたちは自分を磨き、鍛えて挑みます。そして、負けた時に足りないところを見つめ、また立ち向かっていく力を育むようにしていきたいものです。何よりも負けて悔しい思いをしているのは子どもたちです。努力をしても結果に結びつかないこともあるという現実を受け入れることが、これからの生活をたくましく生き抜くことにもつながります。負けた時にこそ、自分に足りないものは何かを気付かせ、より強く、よりうまくするためには何をすべきかという新たな目標をもたせていくことが、「人」としての成長につながっていきます。「勝ち」からも「負け」からも学ぶ「勝敗主義」を大切にしたいです。

④ 相手への敬意・感謝

相手がいてくれるおかげで競技を行うことができます。周囲への敬意や感謝の思いを常に伝えていきたいものです。

子どもたちの「やる気の灯をともし」指導者でありたいです。

子どもたちが安心・安全に活動に取り組むことができるように、事故防止、熱中症予防、応急手当に関わること等の資料を育成会に配付した。

また、指導者に対しても、体罰、暴言・暴力、ハラスメント等について、具体事例をあげながら絶対許されない行為であることを研修資料として配布した。主役である子どもたちが「自ら考え、気付き、子どもたち自身がやる気をもって取り組む活動」となるための指導者になってほしいという願いを伝えた。

これまで、大きな事故や怪我もなく活動ができています。

2.実証内容と成果⑧

広報資料

・部員数を何としてでも確保したいという育成会の強い願いが、部員募集チラシの作成につながった。このチラシを市内全中学生に配付した。推進協議会も内容や学校依頼の手助けはしたが、基本的には文書の作成から印刷、中学校への持ち込み等そのほとんどを部活動支援クラブ育成会が行った。結果として、市内の他中学校からの入部はなかったが、わずかではあるが新1年生の入部につながった。

中学校柔道部員大募集！

中学校柔道部では本県市内の中学校に通う生徒さんを対象に男女柔道部員を募集いたします

中柔道部は本県市内唯一の中学校の柔道部です

柔道部は経験豊富な指導者から柔道の基礎から学び、身体能力と精神力を鍛え、柔道で出会う仲間と切磋琢磨しながら、部員一同 毎日楽しく充実した柔道生活を送っております

初心者・経験者、柔道に興味のある方、何部に入るか迷っている方は是非 中柔道部への入部をご検討ください。

初心者・未経験者でも、黒帯取得・各種大会入賞も可能です

ぜひお気軽に見学にお越しください

基本情報

中学校柔道部 (中柔道部支援クラブ)

練習場所 中学校柔道場 (中学校体育館1階)

練習日 平日 放課後～・土曜日 午前8:30より12:00

※中校区外の生徒さんは放課後の練習参加は難しいかと思われます。

土曜日の部活動に加えて柔道部保護者会主催の柔道クラブの練習(週2～3日程)や柔道協会主催の錬成会・他校との合同練習会にも参加できます。

皆さんの部活見学・お問合せを部員一同、心からお待ちしております

見学・部活内容等のお問合せ先

中柔道部支援クラブ

育成会 まで

バドミントンクラブ 体験会

メンバー募集中です

初めての方も大歓迎です



体験会日時

4月16日(火)	19:00～21:00	小学校体育館
19日(金)	19:00～21:00	小学校体育館
20日(土)	9:00～12:00	小学校体育館
27日(土)	9:00～12:00	小学校体育館
28日(日)	9:00～12:00	小学校体育館

持ち物 お茶、タオル、体育館シューズ
運動できる服装で来てください。ラケットは貸し出します。

希望者は育成会長までご連絡ください。

育成会長

連絡先 メール:

件名を「体験会希望」とし、生徒氏名、学校名、学年、電話番号、体験希望日を記入してメールしてください。当日8:00までの申し込み可。
体験会中の怪我や事故は、自己責任となりますのでご了承ください。

見学は随時 OK です。
申し込みは必要ありません。気軽にのぞいてみてください。お待ちしております。

小体育館
小体育館

(4月14日/21日/30日は休み)

※現在 男子1名、女子4名で頑張っています！
中体連を含め年数回ある大会に参加しています

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

未来を切り開き、たくましく生き抜く子を育成するために、学校と地域が手を取り合って「生徒が主役の部活動支援クラブ」の推進に取り組んできた。

これらの実現と充実に向け、本市では部活動特任指導員を1名配置し、本巣市部活動推進協議会事務局員として、学校・育成会・地域指導者を繋ぐ運営体制を整えてきた。この取組が実を結び、子どもたちが主体となり活動できる環境が整い、地域指導者が本来の指導力を発揮できるようになった。

市補助金による活動資金の支援、地域指導者に向けた研修会の実施等、具体的な支援や指導を行うことで、地域スポーツクラブ活動への移行に向け、着実に歩みを進めることができています。

もちろん、課題もたくさんある。今後は「自律」できる「ひと」を育てていくことを目指し、地域社会（多世代）の参画や合同活動にも取り組み、豊かなスポーツライフを自ら創り出していく子どもを育てていきたい。

●成果の評価

- ・「本巣市部活動推進協議会」事務局を設置し、学校・地域指導者・育成会と連携を図ることで、円滑に地域スポーツクラブとしての活動を行うことができた。また、運営体制を整えることで、結果的に教職員の休日部活動の参加日数が減り、負担軽減を図ることができた。
- ・地域指導者や育成会に指導者確保を地道に働きかけることで、35地域クラブに対し、79名の地域指導者を確保することができた。また、十分ではないが、市独自財源による補助金等を活用し、指導者報酬に充てることで、地域指導者の金銭的支援を行うことができた。
- ・年2回の指導者研修会を実施したことで、指導者の資質・指導力向上に努めることや、共に研修会に参加した学校関係者や育成会のサポート体制の充実を図ることができた。

●今後に向けて

- ・現在、すべての地域クラブに地域指導者を配置しているが、指導者の高齢化などを理由に減少していくことがないようにする。そのために、育成会や地域指導者、スポーツ協会等に対して、指導者の人材発掘を働きかけ続けていく必要がある。
- ・少子化によるチーム編成の困難さを理由にせず、子どもたちが活躍する場を確保するために、拠点校・合同支援クラブ等の推進や近隣市町との連携を図りたい。
- ・生徒が望む競技に本気になって打ち込める体制を構築するためにも、指導者の質の向上や量の確保を図る必要がある。

2.実証内容と成果⑩

参考資料（活動写真）



【市内中学校合同練習会】



【合同チームとして大会参加】



【地域指導者による指導】



【指導者・育成者研修会】

2.実証内容と成果⑪

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和3年

検討開始
学校現場との
調整

生徒、保護者、
指導者への説明
協議会設置

令和4年

地域クラブ活
動の開始

令和5年

地域クラブ活動
の課題への対応

令和6年

地域クラブ活動
の拡大

令和7年

地域クラブ活動
の拡大

●ステークホルダー

学校、市教育委員会、公民館長、部活動特任指導員

●経過

【令和3年度】

- ・市内退職校長を「部活動特任指導員」として教育委員会社会教育課に配属
- ・中学校長会、公民館長と休日の部活動の地域移行について検討会を開催
- ・各学校、保護者会、社会人指導者、関係団体（スポーツ協会、スポーツ推進委員会、スポーツ少年団、市連P）への説明会を実施（各地域2回以上）
- ・説明会における質問事項に対して「Q&A」を作成し学校・育成会に配付
- ・部活動支援クラブ「地域指導者」の登録
- ・「本巣市部活動推進協議会」の組織・役員等の確定
- ・11月「本巣市部活動推進協議会 設立総会」の開催
- ・「中学校入学説明会」において「部活動支援クラブ」の概要説明
- ・育成会を対象に「事務説明会」を開催

【令和4年度】

- ・4月より移行（準備）期間として休日の部活動を「部活動支援クラブ」として活動開始（市内全中学校34クラブ）
- ・8月より「部活動支援クラブ」の完全実施

【令和5年度】

- ・合同支援クラブの実施に向けた合同会議（育成会対象）の開催

【令和6年度】

- ・学校に部活動がない種目を新たに「地域クラブ」として設置

●実施にあたって生じた課題

- ・山間部・小規模校への対応
- ・少子化の進行等による部員の確保
- ・指導者の確保

●実施内容、工夫した点 等

- ・市内全小中学校職員への説明と各学校ごとに保護者・指導者への説明会の実施及び「Q&A」の作成
- ・「合同支援クラブ」、「拠点校支援クラブ」の実施
- ・活動場所の優先確保と使用料の全額免除
- ・指導者の実績に応じた報償費の支払いと指導者研修会の開催

3.今後の方向性

理想とするこれからの本巢市型部活動支援クラブの在り方

めざす人間像：「自律」

自分で考え、判断し、行動する
人のせいにしないで責任をもつ
互いに適切に依存しあう

学 校

生徒の活動を信じ、見守り、
支える
→ 自分たちで創る部活動
学校生活では見えない生徒の
よさを伝え合う
指導者から学ぶ（練習内容）

連携強化・協力

一貫した指導方針・練習内容・生徒理解等の情報共有

部活動・部活動支援クラブ

自分に足りないものは何かを考え、気付く
目標に向けて自分で考えた練習を計画する
仲間と共に主体的に活動する
→ 「自分たちでやろう」

地域指導者

何をすべきかを考え、気付か
せる指導
楽しさ・喜び（達成感・仲
間）を味わわせる指導
資質向上 研修会への参加
他者から学ぶ
→ 指導者認定制度の導入

異年齢の集団で活動

地域社会（多世代）の参画・合同活動

世代をこえ、地域の大人が子どもと関わる活動
大人の生き方から多様な価値観を学ぶ活動
ex. 卒業生・スポーツ協会・文化協会…

スポーツ少年団

次の世代につなげる活動
自分の言葉で語り、
学んだことを確かなものにする活動

部活動推進協議会

指導者・育成者研修会の実施、認定制度の整備
関係団体との連絡調整

活動を通して、「自律」できる「ひと」を育てる

・令和7年度より、スポーツ協会・文化協会・スポーツ少年団に対して、部活動支援クラブと合同活動を行えるよう協力依頼する。（卓球、サッカーは実施済み）

・学校へは育成会・地域指導者との連携を継続して依頼するとともに、地域指導者の認定基準を明確にして資質の向上を図る。

○活動を通して「自律」できる「ひと」をそだてていくことを目指していく。

○地域クラブである「部活動支援クラブ」を、地域・スポーツ少年団との交流することにより、多様な価値観を学ぶとともに、地域全体のスポーツ・文化の振興の礎を生み出す。

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

岐阜県 郡上市

自治体名：岐阜県郡上市

担当課名：スポーツコミッション

電話番号：0575-66-2131

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	1,030 km ²
人口	37,780 人
公立中学校数	8 校
公立中学校生徒数	1,001 人
部活動数	54 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

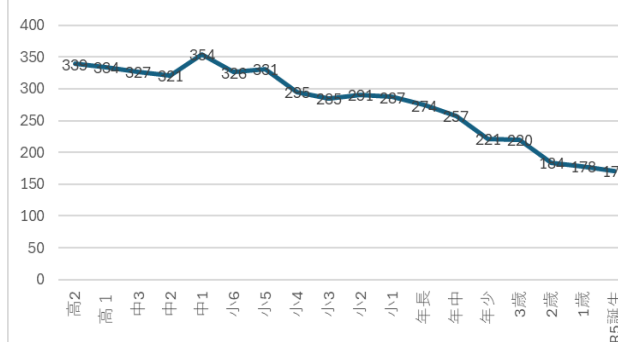
郡上市が地域連携・地域移行に取り組む最大の目的は、少子化に迅速に対応するためである。学校単位はもちろん、合同部活動でさえチーム編成ができない団体が多く、今後少子化がさらに進む中でも、少年スポーツ活動が維持できるよう、休日はもちろん、平日も含めた地域スポーツクラブ活動の指導体制の確立を目指している。

そこで最も重要な役割を果たしているのが、指導者が主体となった組織である。既存の組織の中に「地域クラブ活動推進協議会」を立ち上げ、指導者が中心となった持続可能なクラブ運営を目指した取り組みを始めた。地域移行を実施す

ることにより、一団体の団員数と指導者数を確保し、活動を充実させることができると考えた。しかし、全ての種目団体の統合を目指すためには、指導者や保護者の理解が不可欠であり、いかに関係者の共通理解を図っていくかが鍵となる。また、指導者の質を担保するためにガイドラインを策定している。

令和5年度から地域スポーツクラブへの移行を実施しているが、正式に地域クラブとして登録した団体は、令和5年度で全体の19%、令和6年度で49%である。今後は、令和7年度に96%、令和8年度には地域クラブとして100%登録できるよう、本年度、その礎を築いた。

郡上市の児童生徒数（R5）



少年スポーツ団体や部活動の団体数の推移

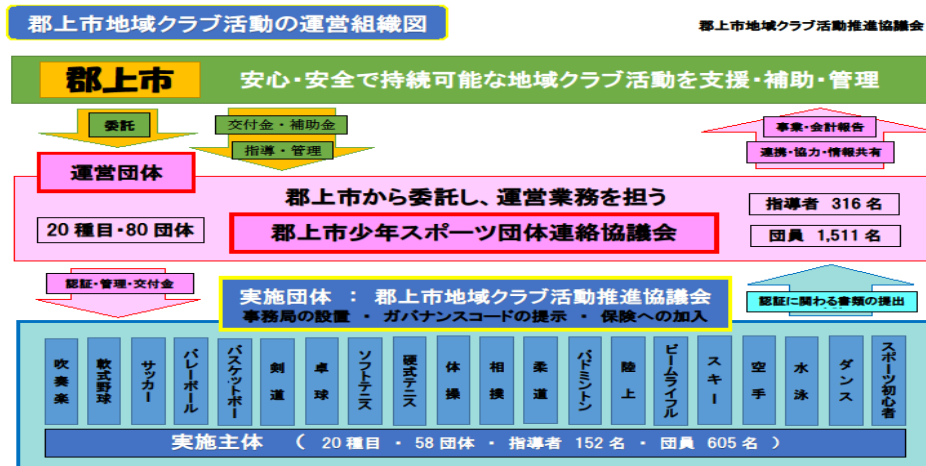
年度	R2	R3	R4	R5	R6
団体数	115	113	103	97	80
前年度からの推移		-2	-10	-6	-17

※4年間で35団体の減少

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

スポーツ振興課が郡上市少年スポーツ団体連絡協議会に事業を再委託している。スポーツ振興課が少年スポーツ団体連絡協議会を監督・指導しているが、地域クラブ活動を推進しているのは、指導者組織の郡上市地域クラブ活動推進協議会である。

◎首長部局

少年スポーツ団体に交付金を交付している。一団体につき、（5,500円×団員数）を交付しているが、用途については、指導者の保険料、指導者への謝金、登録費、審判謝礼、消耗品費等に限定している。市は総額1,000万円規模の補助を少年スポーツ活動に対して行っている。

年間の事業スケジュール

令和6年4月	県中体連への地域クラブ登録
令和6年4月	地域クラブ活動指導体制整備事業説明会
令和6年5月	第1回郡上市少年スポーツ団体連絡協議会理事会
令和6年6月	第1回郡上市地域クラブ活動推進協議会
令和6年10月	地域クラブ活動代表者説明会兼指導者研修会
令和6年12月	中学校入学説明会で郡上市地域クラブ活動についての説明 県地域クラブ活動指導者養成研修会への参加要請
令和7年2月	第2回郡上市少年スポーツ団体連絡協議会理事会
令和7年2月	第2回郡上市地域クラブ活動推進協議会
令和7年3月	令和8年度用 郡上市地域クラブ活動説明会

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	8 校	実施した地域クラブ総数	3 6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 3 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		3 クラブ
全体の指導者数	1 3 1 人	全体の運営スタッフ数	6 0 人

②郡上市地域クラブ活動一覧表

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
郡上南野球クラブ	郡上市地域クラブ活動	軟式野球	火曜日 土曜日 日曜日	17:30～ 8:00～ 8:00～	1年生10名 2年生12名 3年生4名	4月～3月	火曜日：八幡中G 土曜日と日曜日 八幡中G・郡南中Gを交互に使用雨天時は、八幡中体育館	4名	3名	年額 18,000円 前期 9,000円 後期 9,000円	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
BC郡上	郡上市地域クラブ活動	軟式野球	火曜日 木曜日 土曜日 （日曜日）	19:00～ 19:00～	1年生9名 2年生8名 3年生8名	4月～3月	白鳥中学校グラウンド	5名	3名	年額 26,000円 前期 13,000円 後期 13,000円 （遠征時に別途徴収）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
郡上バレーボールクラブ	郡上市地域クラブ活動	バレーボール	火曜日 水曜日 金曜日 土曜日	19:00～ 18:00～ 19:00～ 13:00～	1年生5名 2年生7名 3年生2名	4月～3月	白鳥中学校体育館 八幡中学校体育館 八幡西中学校体育館 八幡中学校体育館	3名	3名	年額 24,000円 2か月ごとに 4,000円	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	8 校	実施した地域クラブ総数	3 6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 3 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		3 クラブ
全体の指導者数	1 3 1 人	全体の運営スタッフ数	6 0 人

②郡上市地域クラブ活動一覧表

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
高鷲男子バレーボールクラブ	郡上市地域クラブ活動	バレーボール	平日3日 休日（1～2日）	平日：18:00～ 休日：9:00～	1年生5名 2年生5名 3年生3名	4月～3月	高鷲中学校体育館	4名	3名	年額 60,000円 月額 5,000円 （別途徴収あり）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
郡南バレーボールクラブ	郡上市地域クラブ活動	バレーボール	火・水・木 土曜日（日曜日）	火・水・木 下校時刻後～ 8:00～	1年生3名 2年生5名 3年生2名	4月～3月	郡南中学校体育館	1名	3名	年額 24,000円 4月に一括徴収 月額 2,000円 （遠征時に臨時徴収）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
八幡VC	郡上市地域クラブ活動	バレーボール	月・水・木 土曜日	18:00～ 13:00～	1年生3名 2年生4名 3年生5名	4月～3月	八幡中学校体育館	2名	3名	年額 18,000円 3か月ごとに4,500円 （登録料など別途徴収）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	8 校	実施した地域クラブ総数	3 6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 3 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		3 クラブ
全体の指導者数	1 3 1 人	全体の運営スタッフ数	6 0 人

②郡上市地域クラブ活動一覧表

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
高鷲女子バレーボールクラブ	郡上市地域クラブ活動	バレーボール	平日3日間 土曜日	下校時刻から2時間 土曜日	1年生3名 2年生5名 3年生7名	4月～3月	高鷲中学校体育館	1名	3名	年額 36,000円 月額 3,000円	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
白鳥・大和バレーボールクラブ	郡上市地域クラブ活動	バレーボール	月曜日 水曜日 土曜日	18:30～ 18:30～ 13:00～	1年生10名 2年生10名 3年生6名	4月～3月	白鳥小学校体育館	3名	3名	年額 18,000円 月額 1,500円 （遠征時に臨時徴収）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
白鳥バレーボールクラブ	郡上市地域クラブ活動	バレーボール	月曜日 木曜日 土曜日	18:00～ 18:00～ 18:00～	1年生0名 2年生0名 3年生6名	4月～3月	白鳥町民体育館	1名	3名	年額 12,000円 2か月ごとに2,000円	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	8 校	実施した地域クラブ総数	3 6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 3 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		3 クラブ
全体の指導者数	1 3 1 人	全体の運営スタッフ数	6 0 人

②郡上市地域クラブ活動一覧表

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
アソレンセ郡上FC	郡上市地域クラブ活動	サッカー	火曜日 水曜日 木曜日 土曜日	19:00～ 19:00～ 19:00～ 8:30～	1年生13名 2年生16名 3年生10名	4月～3月	まん真ん中グラウンド 八幡中学校グラウンド	2名	3名	年額 108,240円 月額 9,020円 （別途徴収費用あり）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
GUJOバドミントンクラブ	郡上市地域クラブ活動	バドミントン	火曜日 金曜日 日曜日	18:00～ 18:00～ 9:00～	1年生12名 2年生7名 3年生8名	4月～3月	八幡中学校体育館	3名	3名	年額 12,000円 前期 6,000円 後期 6,000円	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
白鳥ジュニアBC	郡上市地域クラブ活動	バスケットボール	水・金曜日 土曜日	18:00～ 9:00～	1年生3名 2年生7名 3年生2名	4月～3月	白鳥町民体育館	3名	3名	年額 12,000円 ユニフォームは個人持ち	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	8 校	実施した地域クラブ総数	3 6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 3 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		3 クラブ
全体の指導者数	1 3 1 人	全体の運営スタッフ数	6 0 人

②郡上市地域クラブ活動一覧表

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
Wild monkeys	郡上市地域クラブ活動	バスケットボール	水曜日 金曜日 土曜日 （日曜日）	18:00～ 18:30～ 14:00～	1年生14名 2年生5名 3年生7名	4月～3月	水曜日：郡南中学校体育館 金曜日：市スポーツセンター 土曜日：市スポーツセンター 日曜日：大和中体育館	2名	3名	年額 36,000円 月額 3,000円 （遠征時に臨時徴収）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
WM Liencie	郡上市地域クラブ活動	バスケット	月曜日 木曜日 土曜日	19:00～ 16:30～ 9:00～	1年生3名 2年生2名 3年生2名	4月～3月	郡南中体育館	2名	3名	年額 36,000円 月額 3,001円 （遠征時に臨時徴収）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
BRIGHT GUJO	郡上市地域クラブ活動	バスケット	火曜日 木曜日 土曜日 （日曜日）	18:30～ 18:30～ 9:00～ （9:00～）	1年生9名 2年生9名 3年生2名	4月～3月	平日練習は大和中体育館と郡上東中体育館に分かれて練習、休日は大和中体育館が郡上東中体育館を使って合同練習	2名	3名	年額 36,000円 月額 3,000円 登録料3,000円 ビジター1回 300円	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	8 校	実施した地域クラブ総数	3 6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 3 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		3 クラブ
全体の指導者数	1 3 1 人	全体の運営スタッフ数	6 0 人

②郡上市地域クラブ活動一覧表

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
美並剣道クラブ	郡上市地域クラブ活動	剣道	水曜日 土曜日	19:00～ 9:00～	1年生2名 2年生5名 3年生0名	4月～3月	郡南中学校体育館格技場	3名	3名	年額 6,000円 前期 3,000円 後期 3,000円	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
八幡剣道クラブ	郡上市地域クラブ活動	剣道	月曜日 金曜日 休日	19:00～ 19:00～ 9:00～	1年生0名 2年生3名 3年生5名	4月～3月	八幡中学校体育館	3名	3名	年額 12,000円 月額 1,000円	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
若鮎剣志会	郡上市地域クラブ活動	剣道	月曜日 水曜日 金曜日 土曜日	18:30～ 18:30～ 18:30～ 9:00～	1年生3名 2年生4名 3年生3名	4月～3月	郡上東中学校体育館	3名	3名	年額 16,000円 前期 6,000円 後期 10,000円 （遠征時には臨時徴収）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	8 校	実施した地域クラブ総数	3 6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 3 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		3 クラブ
全体の指導者数	1 3 1 人	全体の運営スタッフ数	6 0 人

②郡上市地域クラブ活動一覧表

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
大和ジュニア剣道クラブ	郡上市地域クラブ活動	剣道	木曜日 土曜日	19:00～ 9:00～	1年生5名 2年生5名 3年生0名	4月～3月	大和中学校武道場	3名	3名	年額 12,000円 前期 6,000円 後期 6,000円 （遠征時に臨時徴収）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
高鷲剣道クラブ	郡上市地域クラブ活動	剣道	月曜日 水曜日 金曜日 休日	18:00～ 18:30～ 18:30～ 9:00～	1年生1名 2年生3名 3年生6名	4月～3月	西洞体育館	8名	3名	年額 36,000円 月額 3,000円 （遠征費等は臨時徴収）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
白鳥剣道ジュニアクラブ	郡上市地域クラブ活動	剣道	火曜日 木曜日 土曜日 （日曜日）	16:00～ 19:00～ 9:00～ （9:00～）	1年生2名 2年生0名 3年生3名	4月～3月	白鳥中学校武道場	4名	3名	年額 20,000円	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	8 校	実施した地域クラブ総数	3 6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 3 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		3 クラブ
全体の指導者数	1 3 1 人	全体の運営スタッフ数	6 0 人

②郡上市地域クラブ活動一覧表

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
郡上市剣道クラブ	郡上市地域クラブ活動	剣道	週に1回の実施 土曜日または日曜日 9:00～	週に1回の実施 土曜日または日曜日 9:00～	1年生4名 2年生4名 3年生4名	4月～3月	高鷲：西洞体育館 白鳥：白鳥中学校格技場 大和：大和中学校武道場 八幡：八幡中学校体育館 美並：まん真ん中体育館 和良：郡上東中学校	8名	3名	大会参加、遠征時に徴収あり	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
郡上八幡体操クラブ	郡上市地域クラブ活動	体操	火曜日 水曜日 木曜日 土曜日（日曜日）	17:30～ 17:30～ 17:30～ 9:00～（9:00～）	1年生5名 2年生1名 3年生2名	4月～3月	五町社会体育施設	10名	3名	年額 180,000円 月額 15,000円 年会費 施設整備費 5,000円 ブルーズ会費5,000円 （遠征時には臨時聴取）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
郡南卓球クラブ	郡上市地域クラブ活動	卓球	月曜日 木曜日 土曜日	19:00～ 19:00～ 8:30～	1年生4名 2年生4名 3年生6名	4月～3月	南部体育館	2名	3名	年額 12,000 円 3か月毎3,000円×4回 （遠征時に臨時徴収）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	8 校	実施した地域クラブ総数	3 6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 3 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		3 クラブ
全体の指導者数	1 3 1 人	全体の運営スタッフ数	6 0 人

②郡上市地域クラブ活動一覧表

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
八幡西卓球スポーツクラブ	郡上市地域クラブ活動	卓球	火曜日 金曜日 土曜日	19:00～ 19:00～ 9:00～	1年生2名 2年生0名 3年生7名	4月～3月	八幡西中学校体育館	2名	3名	年額 6,000円 前期 3,000円 後期 3,000円 （遠征時に臨時徴収）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動とで参加
八幡卓球クラブ	郡上市地域クラブ活動	卓球	火曜日 木曜日 土曜日	18:00～ 18:00～ 9:00～	1年生3名 2年生2名 3年生2名	4月～3月	八幡中学校体育館 1F卓球場	2名	3名	年額 7,000円 前期 3,500円 後期 3,500円	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動とで参加
高鷲卓球クラブ	郡上市地域クラブ活動	卓球	火曜日 木曜日 土曜日	17:15～ 17:15～ 土 9:00～	1年生7名 2年生0名 3年生7名	4月～3月	高鷲中学校多目的室	3名	3名	年額 6,000円 前期 3,000円 後期 3,000円 （大会参加費は個人負担）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動とで参加

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	8 校	実施した地域クラブ総数	3 6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 3 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		3 クラブ
全体の指導者数	1 3 1 人	全体の運営スタッフ数	6 0 人

②郡上市地域クラブ活動一覧表

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
GUJO ソフトテニスクラブ	郡上市地域クラブ活動	ソフトテニス	月曜日 火曜日 水曜日 金曜日 土曜日 （日曜日）	19:00～ 18:00～ 18:00～ 19:00～ 18:00～ （9:00～）	1年生14名 2年生17名 3年生15名	4月～3月	和良ドーム 大和中テニスコート 八幡テニスコート 白鳥テニスコート 大和中テニスコート 大和中or白鳥中テニスコート 八幡西中テニスコート	10名	3名	年額 24,000円 入会金 3,000円 月額 2,000円 （遠征・練習試合時には臨時徴収） 大会や練習試合などは各自で移動	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
八幡Jrテニスクラブ	郡上市地域クラブ活動	硬式テニス	月曜日 水曜日 土曜日 日曜日	16:00～ 18:00～ 13:00～ 不定期	1年生13名 2年生0名 3年生11名	4月～3月	郡上八幡テニスコート 八幡中学校テニスコート	3名	3名	年額 36,000円 入会金 3,000円 月額 3,000円 （R5 現在）	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
和良Jrテニスクラブ	郡上市地域クラブ活動	硬式テニス	火曜日 木曜日 土曜日	19:00～ 19:00～ 13:00～	1年生3名 2年生4名 3年生0名	4月～3月	火曜日：和良ドーム 木曜日：和良ドーム 土曜日：郡上東中テニスコート	2名	3名	年額 15,000円	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	8 校	実施した地域クラブ総数	3 6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 3 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		3 クラブ
全体の指導者数	1 3 1 人	全体の運営スタッフ数	6 0 人

②郡上市地域クラブ活動一覧表

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
めいほうジュニアスキークラブ	郡上市地域クラブ活動	スキー	1月から3中旬	9:30～11:30 12:30～14:30	1年生2名 2年生1名 3年生0名	4月～3月	めいほうスキー場	1名	1名	年額 8,000円 （スキー保険代を含む）	スキー競技大会に地域クラブ活動として参加
ひるがのジュニアスキークラブ	郡上市地域クラブ活動	スキー	夏期：月曜日 冬期：土・日	19:00～21:00 9:00～15:00	1年生2名 2年生0名 3年生0名	4月～3月	高鷲北小学校体育館 ひるがの高原キャンプ場体育館 ダイナランド・ウイングヒルズ	3名	1名	年額 8,000円 入会金 3,000円	中体連大会には部活動として参加 高円宮杯中部日本スキー選手権大会には地域クラブ活動として参加
郡上ビームライフジュニアクラブ	郡上市地域クラブ活動	ビームライフ	火曜日 金曜日	19:30～19:30～	1年生3名 2年生6名 3年生4名	4月～3月	白鳥格技場 （白鳥町民体育館隣）	3名	3名	年額 5,500円 前期 3,000円 後期 2,500円	連盟・協会の大会に地域クラブ活動として参加

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	8 校	実施した地域クラブ総数	3 6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 3 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		3 クラブ
全体の指導者数	1 3 1 人	全体の運営スタッフ数	6 0 人

②郡上市地域クラブ活動一覧表

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
郡上 スイミングクラブ	郡上市地域クラブ活動	水泳	火曜日 木曜日 土曜日	18:30～ 18:30～ 11:30～	1年生5名 2年生4名 3年生2名	4月～3月	郡上市総合スポーツセンター プール	3名	3名	年額 72,600円 月額 6,050円	春季大会 中体連大会 秋季大会 地域クラブ活動で参加
実践空手 白龍会館	郡上市地域クラブ活動	空手	白鳥本部 月曜日 木曜日 八幡支部 火曜日 金曜日	白鳥本部 19:30～ 19:30～ 八幡支部 19:30～ 19:30～	1年生3名 2年生0名 3年生0名	4月～3月	白鳥本部 町民体育館格技場 八幡支部 八幡中学校体育館（柔道場）	白鳥本部 10名 八幡支部 4名	3名	年額 24,000円 月額 2,000円	連盟・協会の各種大会に地域クラブ活動として参加
和道会 郡上支部	郡上市地域クラブ活動	空手	木曜日 土曜日	19:30～ 19:30～	1年生1名 2年生0名 3年生2名	4月～3月	郡上市総合スポーツセンター	4名	3名	年額 12,000円 月額 1,000円	連盟・協会の各種大会に地域クラブ活動として参加

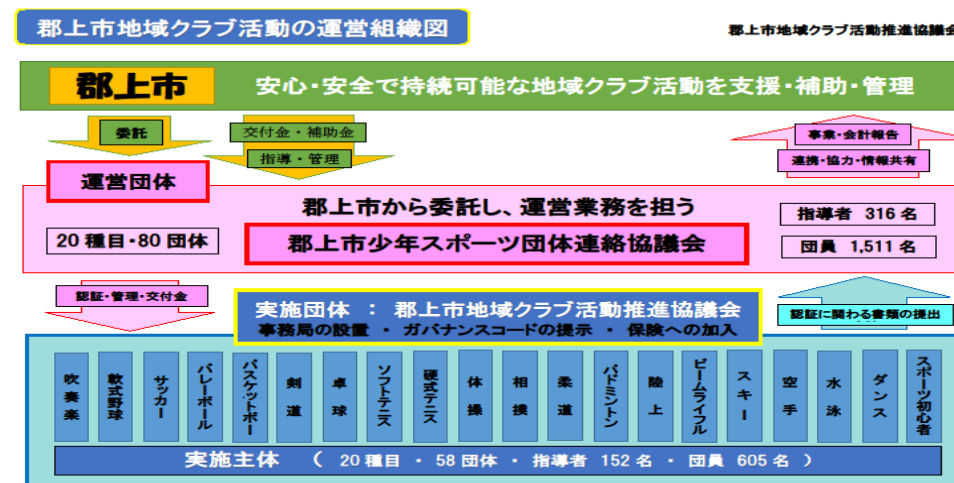
2.実証内容と成果

主な取組例

●郡上市少年スポーツ団体連絡協議会 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	19種目58団体
運営団体名	郡上市少年スポーツ団体連絡協議会
期間と日数	4月1日～3月31日 月16回程度（平日3日、休日1日）
指導者の主な属性	地域指導者
活動場所	市内体育施設 市内各中学校
主な移動手段	保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	22,800円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 郡上市少年スポーツ団体連絡協議会
役割：指導者謝金の給付
- 郡上市地域クラブ活動推進協議会
役割：事務局の設置、ガバナンス・コードの提示、競技種目間の調整・連絡
- 郡上市地域クラブ活動推進協議会事務局
役割：郡上市地域クラブ活動の企画・立案、協議会の開催

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

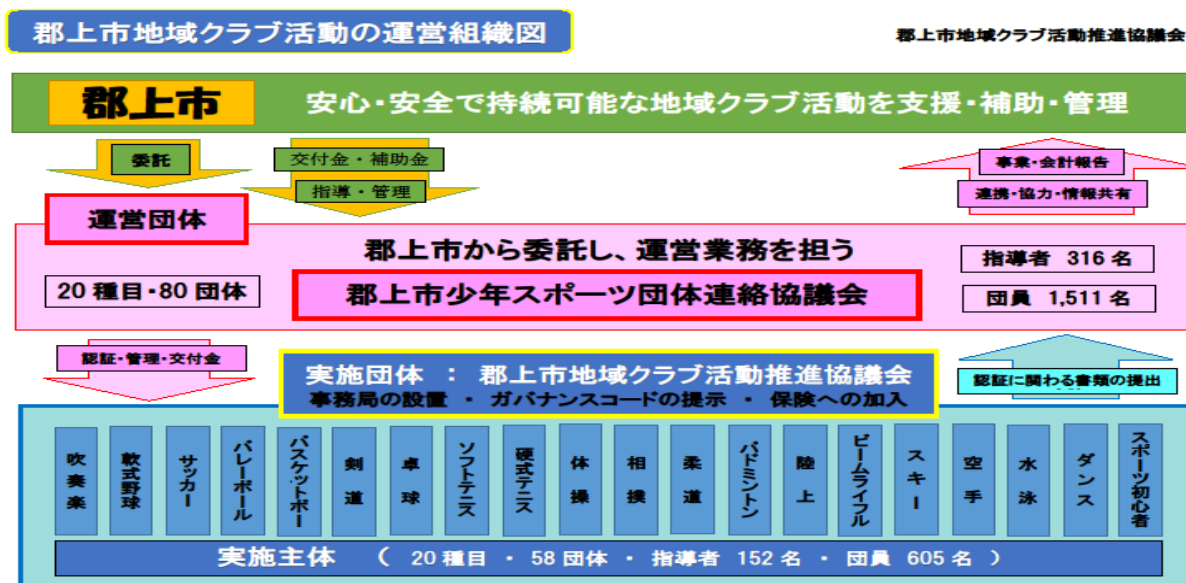
ク：その他の取組

取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

郡上市の地域スポーツクラブ活動推進事業の核となっているのは、「郡上市地域クラブ活動推進協議会」である。この実施団体は、運営団体である既存の郡上市少年スポーツ団体連絡協議会の指導者部会に位置づいている。実施主体の代表者60名で構成され、19種目58団体の実施主体を統括し、持続可能な指導体制の確立を目指し、共通理解を図りながら、様々な課題の解決を図っている。



コーディネーターの具体的な動きの実績

コーディネーターが地域スポーツクラブ活動への具体的な道筋や取組内容を企画立案し、市や実施主体である団体の指導者、生徒、保護者等に提示し、説明会を通してより多くの関係者の共通理解を図りながら地域スポーツクラブ活動への移行を進めている。

取組の成果

指導者や保護者、地域住民への説明会を繰り返し開催し、丁寧に説明したことにより、地域クラブ活動への理解が進み、共感が生まれてきた。

今後の課題と対応方針

移行がスムーズに進むよう、特に現小学6年生と中学1・2年生への説明やサポートを徹底していく必要がある。また、教育委員会、学校そして各団体との共通理解が図れるようコーディネートしていくことが求められる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項	人材バンクの人数	種目	資格有無
郡上市少年スポーツ団体連絡協議会には、19種目80団体が登録している。登録の際、指導者が調査票を提出し、それをもとに268名が指導者登録している。また、「郡上市地域クラブ活動ガイドライン」を策定し、説明会の際に指導者や保護者に説明し、遵守を呼び掛けている。	268名	サッカー、軟式野球、バレーボール男女、バスケットボール男女、剣道、卓球、ソフトテニス、硬式テニス、体操、相撲、柔道、バドミントン、陸上、ビームライフル、スキー、空手、水泳など19種目を対象に、すべての指導者が資格を取得するよう働きかけている。	令和5年度までにJSPOのコーチ1・2の資格取得者は40名、スタートコーチとコーチングリーダーの取得者は29名、各団体の資格取得者は54名であり、令和6年度中に新たに、コーチ1・2は9名、スタートコーチ・コーチングリーダーは8名、各団体の資格は24名増加した。県の地域クラブ指導者のライセンス取得者は、令和6年12月現在79名である。
量の確保	質の保障	取組の成果	
中学生年代が対象のクラブには、19種目58団体で131名の指導者が登録している。令和5年度より、国の事業を活用し、時給1,000円の指導者謝金を支給している。それにより、人材バンクに登録している指導者が実際の指導に携わるなど、量の確保につながっている。	郡上市地域クラブ活動ガイドライン（ガバナンス・コード）を策定し、4月の地域スポーツクラブ指導者説明会で、すべての指導者にガイドラインを説明し、その遵守を呼び掛けた。 指導者資格の取得推進のため、資格取得者に対する支援を行っている。それにより、資格取得者が増加した。	国の体制整備事業を活用し、1日3時間以内で土・日のどちらか1日を対象に時給1,000円を指導者謝金として交付している。原則一人18,000円を月の上限としているが、令和4年度までは、月に500～600円程度の謝金しか支払われておらず、この指導者謝金の大幅な増額が地域スポーツクラブ活動の体制整備に大きく貢献し、指導者の獲得にもつながっている。指導者の質を保障するためには、指導者資格の取得推進が不可欠である。資格取得の支援を行うとともに、無料で受講でき、しかもライセンスまで発行してもらえる県のスポーツ協会主催の地域クラブ指導者育成研修会への参加を積極的に呼びかけている。	

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

中学校校長会、中学校体育連盟、スポーツ協会、教育委員会、市PTA連合会等の理事会や役員会等で「郡上市の地域スポーツクラブ活動」について説明するとともにヒアリングを実施した。特に、部活動や地域スポーツクラブの保護者への説明とヒアリングを丁寧に実施した。

市内8中学校の入学説明会において、地域スポーツクラブ活動の説明を行い、市内ほぼ全ての生徒や保護者に直接説明し、部活動改革に関わる共通理解を図った。

取組の成果

保護者や地域住民に対する説明会を可能な限り開催することにより、地域スポーツクラブ活動に対する関係者の理解が大きく進展した。本年度新たに、八幡VC、高鷲男子バレーボールクラブ、高鷲女子バレーボールクラブの3団体が地域スポーツクラブに移行した。さらに郡南バレーボールクラブ、白鳥・大和バレーボールクラブ、郡上市ジュニアテニスクラブ、郡上ジュニアクロスの4団体が現在地域スポーツクラブへの移行の準備を進めている。

令和7年4月に行われる岐阜県中学校体育連盟へのチーム登録では、22団体が地域スポーツクラブ登録を行う予定である。

中学校長会との連携

中学校入学説明会での説明内容はもちろん、令和7年度4月の登録作業、6・7月の中体連大会への参加、9月以降の学校部活動から地域クラブ活動への移行などについて、具体的な内容を確認し、スムーズに移行できるよう、共通理解を図った。

保護者との連携

部活動や地域スポーツクラブの保護者への説明会では、今後の見通しや具体的な動きについて説明した時に、保護者から寄せられた意見や要望に対しては、丁寧かつ迅速に対応することに心がけ、登録に際しては、対象生徒一人一人の意向を確認するなどしている。

今後の課題と対応方針

郡上市では現在、指導者が主体となった「地域クラブ活動推進協議会」が推進役となって地域スポーツクラブ活動への移行を進めているが、将来的には郡上市スポーツ協会の組織にそれを位置付けていく予定である。そのため、本年度より、スポーツ協会との連携を進めている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

郡上市では、一部の地域や一部の種目に限定して進めるのではなく、「郡上はひとつ」の理念をもとに、全ての地域、全ての種目で部活動改革に取り組んでいる。地理的に南北に長く移動に時間がかかるため、平日は地域ごとに同じ種目の小学生と中学生が一緒に取り組む小中合同の活動を推奨している。そこに高校生や大人も加わり、スポーツを通じた地域の新たなコミュニティづくりに寄与していくことを願っている。

自治体の役割

郡上市の地形は、南北に長く、洞々が非常に多い。公共の交通機関もそれほど延伸しておらず、使用できる時間帯も限られており、それらを使って生徒が移動するには無理がある。また、平日には小学校や幼稚園がスクールバスを使用しているため、スクールバスを使って生徒を移動させることにも無理がある。したがって、平日については、それぞれの地域で小中合同での活動を推奨し、全ての少年スポーツ団体への支援を行っている。

移動手段

平日については、それぞれの地域で小中合同での活動を推奨し、少年スポーツ団体への支援を行っている。したがって、移動に係る保護者の負担は軽減されている。休日については、保護者に時間的なゆとりがあるため、市内の中学生が一堂に集まって活動する合同練習や交流活動を推奨している。移動は保護者が各自で行うが、年間一人5,500円の支援を行っている。団体によっては練習会場を巡回し、一部の生徒だけの負担を重くすることを回避している。

事務局運営の方法

郡上市の地域クラブ活動の運営団体は郡上市少年スポーツ団体連絡協議会であり、20種目80団体が所属している。地域クラブ活動の事務局は、その下部組織の郡上市地域クラブ活動推進協議会の中にあり、19種目58団体が所属している。事務局は双方の組織を兼務しており、共通理解を図りながら運営している。

取組の成果

夜間の活動では小学生と中学生と一緒に活動している団体が増えてきた。基本的には、同じ体育館で同じ時間帯に別々の指導者が小・中に分かれて指導することが多く、コミュニケーションをとりながら一緒に活動する場面はまだ少ない。しかし、白鳥バレーボールクラブや郡南中剣道クラブのように、高校生が中学生を教えたり、中学生が小学生を教えたりするなど、小中連携や中高連携の活動を積極的に進めている団体もある。本年度4月に行った県中学校体育連盟への地域クラブ登録は12団体であったが、9月には2団体増え、14団体となった。現在、8団体が令和7年度の県中学校体育連盟への地域クラブ登録の準備を進めている。

今後の課題と対応方針

改革を積極的に進める団体が増えてきた一方で、卓球や柔道など、指導者同士の意思疎通がなかなか進まない種目団体がある。また、バスケットボールのように、中体連への参加資格がなかなか公表されないため、地域クラブ活動の指導体制を決めることができない団体もある。推進会議で成果を上げている種目団体の好事例を話題にして全体への働きかけを強めたり、地方から中央へ働きかける方法も工夫していきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

郡上市は、国の指導体制整備事業を活用して指導謝金を支給するとともに、地域スポーツクラブ活動の対象団体36団体に対し、交付金の交付、施設利用等の減免措置、指導者資格の取得支援、指導者講習会の実施等に係る補助、大会参加補助等を実施している。

地域クラブ活動への支援①

■指導謝金の支給

郡上市の地域クラブは36団体あるが、令和4年度までは、各団体で支払われていた指導者への謝金は、1回当たり50円～100円程度で、ほぼボランティア活動としての位置づけであった。しかし、国事業（実証事業）を活用することにより、登録した指導者に対して1時間当たり1,000円を支給できるようになった。原則として休日のどちらか1日が対象で、1日3時間以内の活動に限定している。対象期間は、5月から12月までの8か月間である。令和6年12月現在の登録者数は139人で、一月当たり一人約18,000円が上限となり、ひと月の総額は100万円程度。年の総額800万円程度を指導者への謝金として支給している。対象の指導者には説明会を開催し、郡上市地域クラブ活動ガイドラインを配布し、それを遵守するよう指導している。

地域クラブ活動への支援②

■市交付金の交付

地域クラブ36団体に対し、一人5,500円×人数分の交付金を各団体に交付している。郡上市全体では、総額900万円程度を少年スポーツ団体に交付している。用途は、指導者の協会登録料や保険代、指導者への謝金、講習会・研修会等の講師謝金、消耗品代等である。備品購入は対象外で、団員の登録料や保険代は受益者負担としている。

地域クラブ活動への支援③

■減免措置

地域クラブ活動の各団体に対し、郡上市では、施設利用に対し100%の減免措置をとっている。また、電気使用料、夜間照明料に対しても100%の減免措置をとっている。

地域クラブ活動への支援④

■指導者資格の取得支援

指導者の質を確保するため、郡上市では登録指導者が全員指導者資格を取得できるよう、指導者資格の取得支援を進めている。JSPOのコーチ1以上の資格取得者に対しては6,000円、スタートコーチ・アシスタントコーチ資格に対しては3,500円、各種団体の段位等に対しては1,000円の補助を行い、R6現在、98名に対して約31万円の補助を行った。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組事項

郡上市は、国の指導体制整備事業を活用して地域指導者に指導謝金を支給するとともに、地域スポーツクラブ活動の対象団体36団体に対し、交付金の交付、施設利用等の減免措置、指導者資格の取得支援、指導者講習会の実施等に係る補助、大会参加補助等を実施している。

地域クラブ活動への支援⑤

■補助金の支給

郡上市は、運営団体である郡上市少年スポーツ団体連絡協議会に対して48万円、スポーツ少年団に対して12万円の補助金を支給している。それを活用して講習会、研修会等を実施し、講師謝金等に充てている。

地域クラブ活動への支援⑥

■大会参加補助

地域スポーツクラブ活動の36団体のうち27団体に対し、春季大会、夏季中体連大会、秋季新人戦の年間3大会の地区大会と県大会でのスクールバスの利用を認めている。利用料は無料である。また、中体連の東海大会や全国大会への出場に際しては、参加生徒と指導者1名の旅費と宿泊費の補助を行っている。さらに、全国大会への出場者には激励会を開催し、激励金を給付している。

取組の成果

市の交付金は、80団体に対して総額800万円程度、一団体に対して平均10万円程度を交付している。各団体は消耗品の購入や指導者の登録費用、保険加入、指導者謝金等に交付金を活用し、団体運営の負担軽減につながっており、それは受益者負担の軽減にもつながっている。さらに、市内の施設使用料や夜間照明料も100%の減免措置を実施しており、地域スポーツクラブにとっては、大きな経費削減となっている。さらに指導者資格の取得支援は、指導者の質の確保に大きく役立っている。

今後の課題と対応方針

郡上市が実施している5つの支援策と令和5年度より実施されている国事業（実証事業）は、受益者負担の軽減に大きく寄与している。特に、指導体制整備事業は、指導者個人への支援というだけでなく、郡上市の地域スポーツクラブ活動の指導体制の確立に大きく寄与している。

課題は、今後も郡上市の5つの支援策を継続していくための財源を確保していくことと、国の支援が終了した後、市独自で800万円にのぼる指導者謝金をいかに確保していくかである。持続可能な地域クラブ活動を維持していくためには、指導者の確保のための施策が大前提となる。

2.実証内容と成果

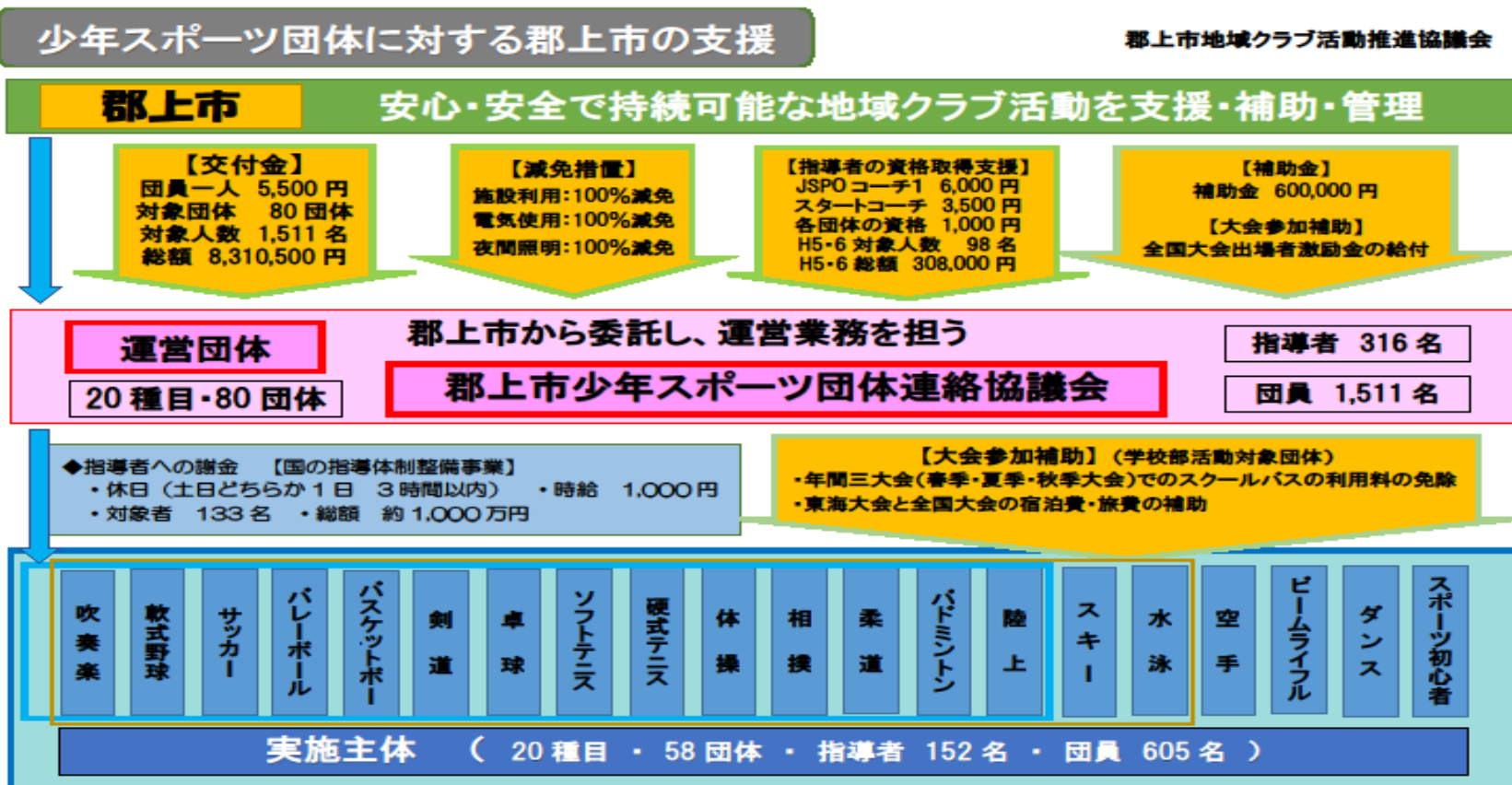
ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③



2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

郡上市は少子化が急速に進んでおり、少子化への迅速な対応が急務である。少子化が進んでも少年スポーツ活動を維持・推進していくためには、指導者主体の組織が中心となって進めることが最適であると考え、指導体制を整えてきた。郡上市の指導者は熱意があり、指導力を身につけた指導者が多い。そのうえ、各競技団体の核となっている指導者の多くが地域スポーツクラブ活動の主旨を理解し、その体制作りにも積極的である。さらに核となる指導者同士のネットワークがあり、郡上市地域スポーツクラブ活動を市内のすべての指導者に浸透させる素地が整っている。それを活用して地域クラブ活動推進協議会を組織し、持続可能な指導体制づくりに取り組んでいる。さらに、地域スポーツ活動を安心・安全を第一に進めていくためには、指導者の質の保障と量の確保が不可欠である。国事業（実証事業）を活用して指導謝金を給付し、指導者のモチベーションを高めたり、指導者資格の取得推進を支援したり、郡上市地域クラブ活動ガイドラインを策定してその遵守を呼びかけたりして、安心・安全な地域クラブ活動が実施できるよう努めている。

●成果の評価

持続可能な地域スポーツ活動を展開するために、平日と休日の指導体制を別々にして取り組んでいる。平日はそれぞれの地域でそれぞれの地域指導者が主体となって小・中学生と一緒に指導することを基本としている。また休日は、同年代の児童・生徒が集まり、市内の統一チームを目指した活動を推進している。したがって、休日の指導者は、それぞれの地域の指導者ではなく、小学生は小学生の、中学生は中学生の指導者が主体となって指導している。平日と休日の指導体制が異なるため、指導者間の共通理解が不可欠である。それを調整していくのが「郡上市地域クラブ活動推進協議会」である。協議会が機能することにより、それぞれの種目団体内の調整だけでなく、競技種目同士の地域スポーツクラブ活動への共通理解も進めている。協議会は、郡上市の少年スポーツ全体の組織改革、指導体制づくりに大きく寄与している。

●今後に向けて

休日の地域スポーツクラブ活動については、「郡上市地域クラブ活動推進協議会」が主体となった指導体制を整え、移行を順調に進めている。今後は、平日の地域スポーツクラブ活動を軌道に乗せていくことに重点をシフトしていく予定である。そのためには、小中連携が不可欠である。南北に長い地形である郡上市では、移動に時間がかかるため、平日は、それぞれの地域で小中が連携して指導体制を整え、「地域の子は地域で育てる」指導体制づくりを進めていく必要がある。そのためには、小中連携の指導体制を整えていく団体に指導謝金等を交付できるよう、財源の確保を進める必要がある。

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【市内統一団体 郡上市剣道クラブ】



【市内統一団体 郡上バレーボールクラブ】



【市内統一団体 郡上ソフトテニスクラブ】



【市内統一団体 郡上スイミングクラブ】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【連盟主催 郡上市相撲クラブの日常練習】



【連盟主催 幼保・小・中硬式テニス教室】



【協会主催 第1回小中学生卓球合同練習会】



【協会主催 小中学生バドミントン合同練習会】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【小中連携 郡上八幡柔道クラブ】



【小中高連携 白鳥バレーボールクラブ】



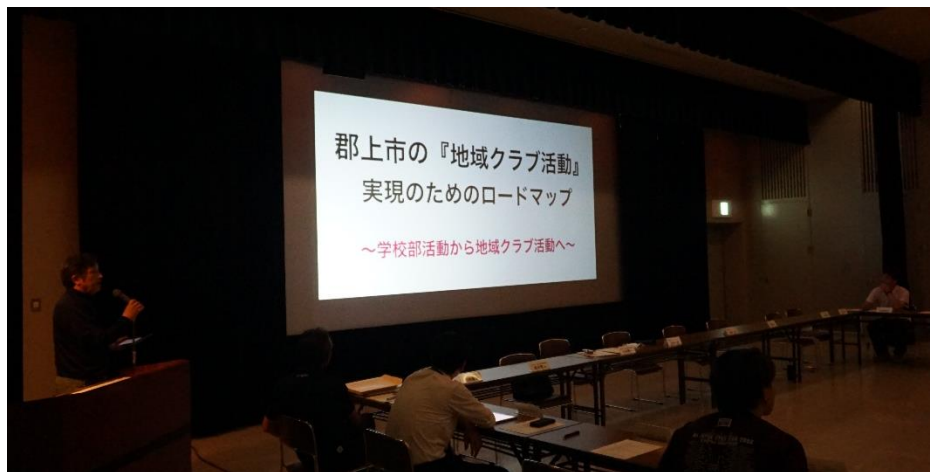
【幼保小中連携 高鷲剣道クラブ】



【幼保小中連携 郡上市テニスクラブ】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【郡上市地域クラブ活動推進協議会】



【郡上市地域クラブ活動推進協議会】



【郡上市地域クラブ活動説明会】



【郡上市地域クラブ活動説明会】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

各種団体へのヒアリングを通した郡上市地域クラブ活動の骨子づくり

受け皿団体や指導者組織、協議会設置等の検討開始

令和5年

学校現場との調整、生徒、保護者への説明

地域クラブ活動の開始

令和6年

休日の地域クラブ活動の充実

令和7年

休日の地域クラブ活動の充実と平日の地域クラブ活動への拡大

●ステークホルダー

郡上市中学校校長会
中学生種目団体の代表者・指導者

●経過

6月 市内中学校長へのヒアリング
9月 市中学校長会でのプレゼン
10月～3月の6か月間

種目団体の指導者・代表者へのヒアリング

●実施内容、工夫した点 等

市内8校の中学校長から部活動改革に関わるヒアリングを行い、それをもとに、「郡上市の地域クラブ活動」の骨子を作成した。その後、6か月間かけて19種目の58団体の指導者や代表者を集め、ヒアリングを行った。

●ステークホルダー

市内の小学6年生の児童・保護者
中学生種目団体の指導者

●経過

12月 中学校入学説明会で説明
3月 地域クラブ活動推進委員会の原案作り

●実施内容、工夫した点 等

校長会や種目団体の指導者・代表者へのヒアリングをもとに作成した「郡上市の地域クラブ活動」の説明会を12月に行われた市内全8中学校の入学説明会で、6年生児童と保護者にプレゼンを使って説明した。また、R5に向けて、郡上市地域クラブ活動推進委員会の設置準備を行った。

●ステークホルダー

中学生種目団体の指導者・代表者
生徒・保護者
地域住民

●経過

4月 地域クラブ指導者への説明会
7月 地域クラブ活動推進協議会
10月 市のケーブルテレビでプレゼン
12月 中学校入学説明会で説明
2月 地域クラブ活動推進協議会
3月 地域クラブ代表者への説明会

●実施内容、工夫した点 等

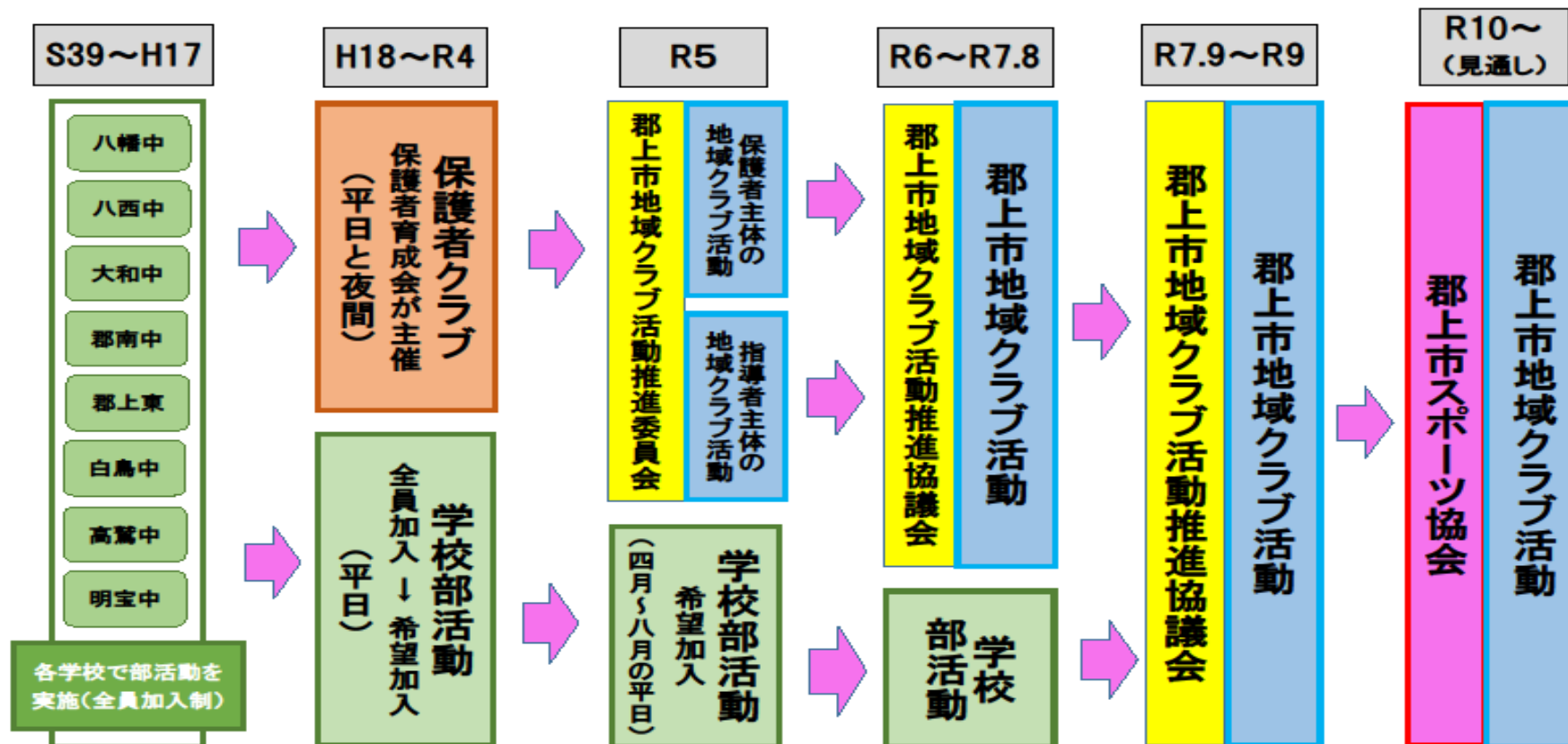
より多くの市民に郡上市の地域クラブ活動を理解してもらうため、ケーブルテレビを活用して、約2か月間にわたって説明録画を放送した。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

郡上市地域クラブ活動の実現に向けたロードマップ

郡上市地域クラブ活動推進協議会



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

岐阜県 下呂市

自治体名：岐阜県下呂市

担当課名：下呂市教育委員会 学校教育課

電話番号：0576-52-4800

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	851 km ²
人口	28,906 人
公立中学校数	6 校
公立中学校生徒数	764 人
部活動数	42 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

下呂市では、令和 6 年度より、下呂市が母体となった休日における部活動地域展開を全面実施した。現状の課題については、大きく 2 つある。

1 つ目は、クラブ指導者の安定した確保とその謝金の確保である。令和 6 年度、市内中学校 4 2 部活に対し、指導者数は 7 8 名でスタートした。また、指導 1 回につき 2, 0 0 0 円の謝金を設定し、取り組むこととした。

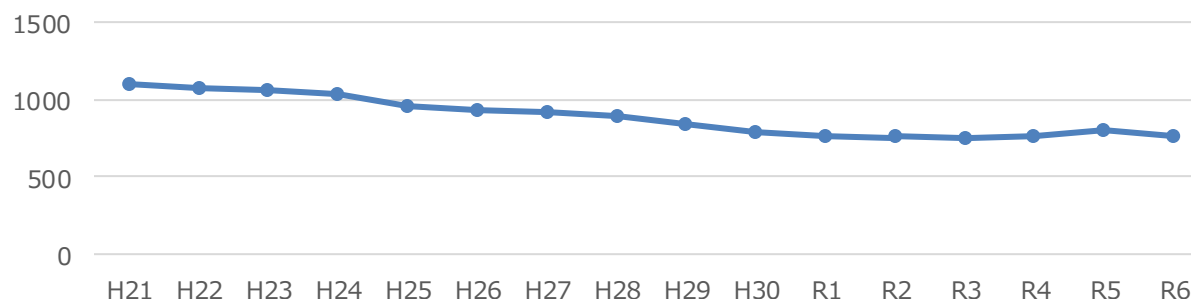
土日の部活動地域展開における指導者については、指導にやりがいを感じている教職員及び地域の社会人指導者での運営とした。持続可能な地域クラブとして存続するためには、安定的

な指導者の確保が必要となっている。

2 つ目の課題は、学校間における生徒の移動手段及び交通費である。

下呂市においても、生徒の減少は顕著に表れている。4 町 1 村の統合の年（平成 1 6 年）から生徒数は 1 1 6 0 人から 7 6 4 人に減少している。市内に点在する中学校単独では、部ごとの人数が少なく活動が成り立たないため、拠点校を中心とする合同での活動をする必要があった。その際、生徒が移動するための費用が大きな課題となっている。

下呂市生徒数推移

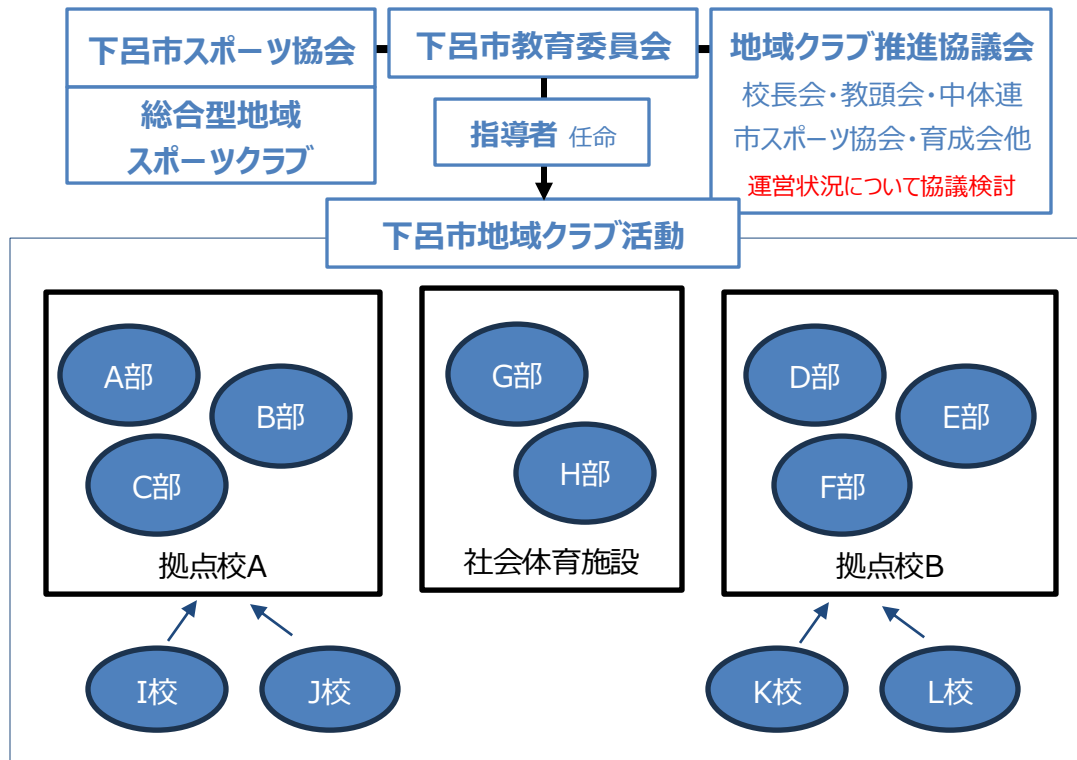


下呂市教育委員会 調べ

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎下呂市教育委員会

- ・学校教育課…指導者の任命、学校や中体連、下呂市スポーツ協会等との連絡調整
- ・教育総務課…予算措置

◎首長部局

- ・まちづくり推進課…中学生部活動地域クラブ活動の施設環境整備等

年間の事業スケジュール

令和6年4月	下呂市中中学生部活動地域クラブの実施
令和6年7月	第1回クラブ指導者研修会・交流会の開催
令和6年10月	第1回協議会の開催
令和6年11月	第2回クラブ指導者研修会・交流会の開催
令和7年2月	第3回クラブ指導者研修会・交流会の開催
令和7年3月	第2回協議会の開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	6校	実施した地域クラブ総数	25クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		25クラブ（42部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	78人	全体の運営スタッフ数	1人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
小坂中女子バレー	下呂市教委	バレーボール	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年7名 2年2名 3年7名	令和6年度	小坂中体育館	2人	0人	なし	中体連：部活動
萩原北中女子バレー	下呂市教委	バレーボール	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年2名 2年4名 3年5名	令和6年度	萩原北中体育館	2人	0人	なし	中体連：部活動
萩原南中女子バレー	下呂市教委	バレーボール	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年4名 2年2名 3年5名	令和6年度	萩原南中体育館	2人	0人	なし	中体連：部活動
下呂市男子バレー	下呂市教委	バレーボール	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年8名 2年5名 3年3名	令和6年度	萩原南中体育館	5人	0人	なし	中体連：クラブ
下呂・竹原女子バレー	下呂市教委	バレーボール	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年11名 2年4名 3年6名	令和6年度	下呂中体育館	4人	0人	なし	中体連：部活動
金山中女子バレー	下呂市教委	バレーボール	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年6名 2年7名 3年6名	令和6年度	金山中体育館	2人	0人	なし	中体連：部活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
下呂市陸上競技	下呂市教委	陸上競技	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年16名 2年24名 3年38名	令和6年度	下呂中グラウンド	10人	0人	なし	中体連：部活動
下呂NORTH男子	下呂市教委	バスケットボール	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年8名 2年9名 3年5名	令和6年度	萩原南中体育館	4人	0人	なし	中体連：クラブ
下呂NORTH女子	下呂市教委	バスケットボール	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年2名 2年13名 3年2名	令和6年度	萩原南中体育館	3人	0人	なし	中体連：クラブ
下呂・竹原男子バスケ	下呂市教委	バスケットボール	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年5名 2年9名 3年5名	令和6年度	下呂中体育館	2人	0人	なし	中体連：クラブ
下呂・竹原・金山女子バスケ	下呂市教委	バスケットボール	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年6名 2年8名 3年6名	令和6年度	下呂中体育館	2人	0人	なし	中体連：部活動
金山中男子バスケ	下呂市教委	バスケットボール	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年5名 2年7名 3年3名	令和6年度	金山中体育館	2人	0人	なし	中体連：部活動
萩原BBC	下呂市教委	軟式野球	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年11名 2年12名 3年15名	令和6年度	萩原南中グラウンド	4人	0人	なし	中体連：クラブ
下呂BBC	下呂市教委	軟式野球	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年14名 2年3名 3年12名	令和6年度	つつじヶ丘野球場	4人	0人	なし	中体連：クラブ
小坂・萩原北男子テニス	下呂市教委	ソフトテニス	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年9名 2年3名 3年7名	令和6年度	小坂中テニスコート	5人	0人	なし	中体連：部活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
萩原南中男子テニス	下呂市教委	ソフトテニス	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年7名 2年6名 3年4名	令和6年度	あさぎりテニスコート	2人	0人	なし	中体連：部活動
萩原南中女子テニス	下呂市教委	ソフトテニス	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年7名 2年5名 3年6名	令和6年度	あさぎりテニスコート	2人	0人	なし	中体連：部活動
下呂・金山男子テニス	下呂市教委	ソフトテニス	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年11名 2年7名 3年14名	令和6年度	下呂中テニスコート	3人	0人	なし	中体連：部活動
下呂・金山女子テニス	下呂市教委	ソフトテニス	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年8名 2年7名 3年15名	令和6年度	下呂中テニスコート	2人	0人	なし	中体連：部活動
小坂・萩原北女子テニス	下呂市教委	ソフトテニス	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年10名 2年6名 3年6名	令和6年度	小坂中テニスコート	2人	0人	なし	中体連：部活動
下呂剣友会	下呂市教委	剣道	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年2名 2年12名 3年5名	令和6年度	下呂中体育館	6人	0人	なし	中体連：クラブ
萩原北中卓球	下呂市教委	卓球	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年1名 2年8名 3年11名	令和6年度	萩原北中体育館	2人	0人	なし	中体連：部活動
萩原南中卓球	下呂市教委	卓球	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年6名 2年8名 3年5名	令和6年度	萩原南中体育館	2人	0人	なし	中体連：部活動
下呂中卓球	下呂市教委	卓球	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年6名 2年5名 3年1名	令和6年度	下呂中卓球場	2人	0人	なし	中体連：部活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
竹原中卓球	下呂市教委	卓球	月4回	土曜日 8:30-11:30	1年11名 2年6名 3年10名	令和6年度	竹原中体育館	2人	0人	なし	中体連：部活動

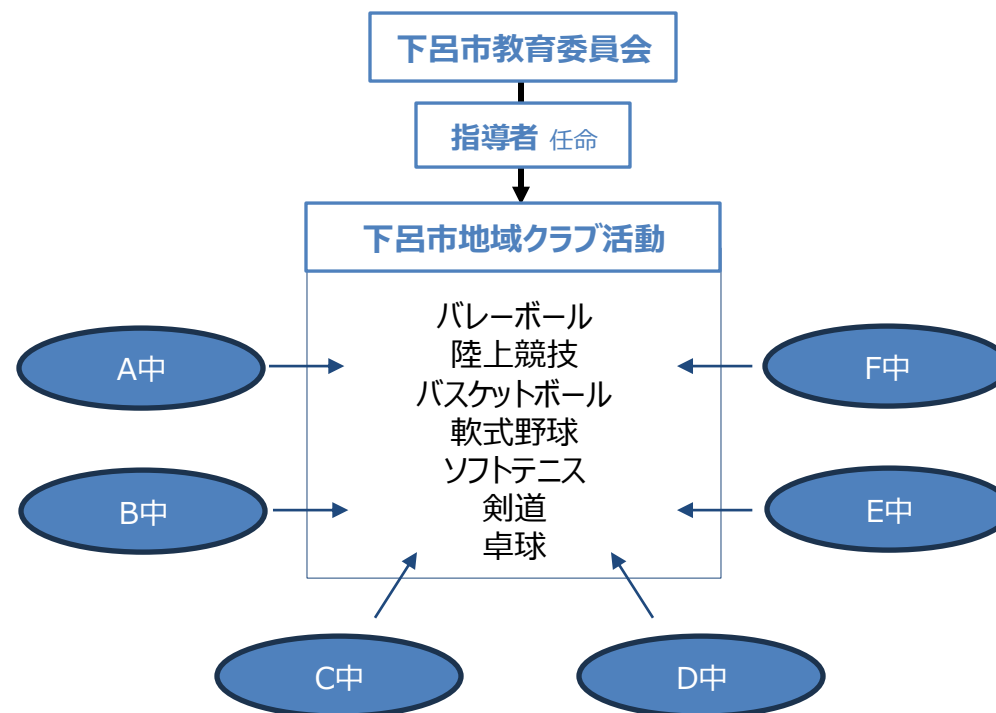
2.実証内容と成果

主な取組例

●下呂市中学生部活動地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール、陸上競技、バスケットボール、軟式野球、ソフトテニス、剣道、卓球
運営団体名	下呂市教育委員会
期間と日数	4月1日～3月31日 土曜日、月4回程度
指導者の主な属性	小中学校教員、社会人指導者
活動場所	拠点校、各体育施設
主な移動手段	スクールバス、公共交通機関
1人あたりの参加会費等（年額）	0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：480円/年（市で補助） 指導者：99,740円/円（団体）

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●クラブ指導者

役割：各クラブ活動における指導、会場確保、大会申し込み等を行う

●事務局（下呂市教育委員会）

役割：運営状況全体把握、指導者研修会開催、実績報告書作成等を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

指導者研修の内容・参加実績

- ・開催日：令和6年7月30日
- ・参加人数：72名（クラブ指導者、下呂市スポーツ協会関係者、学校関係者など）

パリパラリンピック パラトライアスロン日本代表強化リーダー 富川理充氏より「日本代表選手におけるコーチングのポイント」を演題とした講演会を実施した。日本のトップ選手指導の具体を知る中で、中学生期に必要な指導ポイントは何かを検討する機会となることを目的とした。本講演会後は、同競技の指導者が集まり、指導ポイントや重点の明確化、今後の始動スケジュール等々、連携を図る交流会を実施することができた。

受講者の声

- ・科学的根拠をもとに、指導をアップデートしている姿をお話しいただいたおかげで、普段の練習でもどのように改善させていくのか考えるきっかけになりました。
- ・自立した競技者に育てるためにも、考える力を育成できる関わり方ができるよう、自分自身も学び続けていきたいと思います。
- ・自分自身が現役だったころの練習方法が必ずしも有効ではないため、その子に合った練習を見つけられるようにしていきたいと思います。

受講者の声

- ・私が一番自分の中で納得できたことは、「これまで自分が受けてきた指導を否定し、科学的根拠をもとに今後の指導をしていく」ということです。自分が受けてきた指導はもちろん良いものだったと感じているし、指導してくださった先生方には本当に感謝しています。しかし、レベルも変化している中で、同じようには指導はできないと感じていました。そう感じるのには2つ要因がありました。1つ目は、自分の指導レベルが高い水準と言えないことです。私が憧れた先生方と同じように指導することはできないと感じています。もう1つの要因は、科学の進歩、道具の進歩、競技者の変化、社会的に求められていることの変化です。この2つの要因から、これまで受けてきた指導を自分がするのは無理だと思っていました。富川先生のお話をお聞きさせていただき、自分で深く納得できたこの部分は、今後の自分の指導の糧としていきたいです。私自身もスポーツを科学的に学んだ経験があるので、根拠のある新しい自分なりの指導をしていきたいと思いました。
- ・選手を見る視点がよく分かりました。今後生徒を指導する際に生かしたいです。
- ・質問にも出ていた「切りかえ」については、指導者自身が切り替えることを大切にするべきだと思いました。試行錯誤しながらより良い方法を見つけたいと思いました。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容・参加実績

- ・開催日：令和6年11月18日
- ・参加人数：67名（クラブ指導者、下呂市スポーツ協会関係者、学校関係者など）

プロアスリートもサポートしている株式会社キーメイン代表 長峯誠 氏を講師に迎え、指導者向けの「食育&遺伝子栄養セミナー」を開催した。中学生期における栄養面の重要性や、練習直後の捕食の効果等について、科学的根拠や実例を示しながらの説明を聞くことができた。指導者は、栄養面だけでなく休養やリカバリーについても改めてその重要性を自覚することができた。

Jr.アスリートから現役アスリートまでサポートしている
Club Support

プロから学ぶ!!
子供達の土台となる体作り

参加費 無料

指導者様向け
食育&遺伝子栄養セミナー

2024
11/18(月)
19:00 - 20:30
場所：下呂市市民会館

講師：株式会社キーメイン
代表 長峯誠

Supported By
下呂市部活動応援プロジェクト

受講者の声

- ・栄養学や食事の大切さについて改めて確認することができました。これまでは栄養や食事、休養について指導することは少なかったですが、今後はリカバリーについても目を向けて行きたいです。また東海大会などに行くと静岡、愛知の中学生と下呂市の中学生を比べると、下呂市の生徒は小さいと感じます。体づくりをした上でトレーニングを充実させていくという考え方にシフトして行きたいと思いました。
- ・非常に魅力的な研修でした。スポーツは、科学的に分析することで、生徒にとってより効果的かつ効率的なトレーニングができることがわかりました。
- ・食事は子どもたちの成長にとって大切なものであることが講師の方の説明や事例によってよくわかりました。しかし、運動をしている子にしかスポットライトが当たっていないと感じました。ぜひ、文化的な活動をしている子どもにもスポットライトを当てていただきたいと感じました。
- ・目的の重要性を再認識しました。納得して取り組ませることが継続に繋がることは経験的に知ってはいたものの、指導の中でもっと強く押していきたいです。
- ・教育活動と同様に目的を明確にし、様々な手段を施すことが大切だと再確認できた。指導者、保護者、選手が三位一体となり、指導を行っていきたい。指導観を大きくかえる貴重な経験になりました。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

○拠点校については、近隣中学校から移動時間が長くとも30分程度で移動可能である学校で合同部活動が実施できるよう配慮した。

○近隣中学校でも人数が揃わないなどの現状がある部は、保護者の意向等を受け、市内で1つのクラブチームを立ち上げた（下呂市男子バレークラブ）

移動手段

○スクールバス
単価契約を行い、土日にも運行するよう契約し、生徒の移動を保障した。その際、競技の違うクラブであっても、練習日を調整するなどして、スクールバス利用率を上げるよう配慮した。事前把握した利用者数により、公共交通機関を利用した方が費用がかからない場合は、スクールバスの運行を取りやめるなど、適切な対応を行なった。

移動手段

○公共交通機関
路線バスを利用する際に、土日の活動時間が保障できるよう、路線バスダイヤについて調整できないか交渉し、若干ではあるものの、生徒が都合のいい時間帯に移動できるようダイヤ改正の協力を得ることができた。少人数で移動する場合は、単価の安い公共交通機関を利用して合同部活動に参加する生徒も多い。

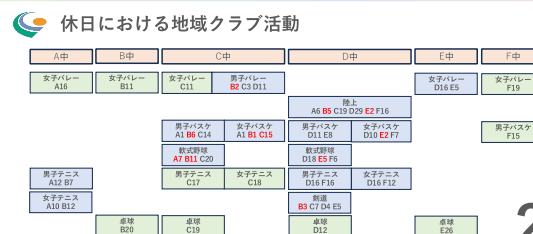
事務局運営の方法

○下呂市教育委員会 学校教育課に休日における部活動地域クラブ展開の事務局を設置した。

○クラブ指導者の任命、実績報告書の取りまとめ、謝金の支払い、生徒の移動費の支払い等について、教育総務課や学校事務職員と連携を図りながら運営した。

取組の成果

下呂市内6中学校におけるスポーツ部活動数42部活が、土日の拠点校を中心とする合同でのクラブ活動を実施することにより25部活動に減少。それに伴い、1つの活動団体は担当指導者数が増え、所属生徒数も増加。



25

今後の課題と対応方針

○顧問と土日の指導者の練習内容、活動計画等における連携体制の継続。

○年度ごとに所属生徒数が変わるため、どのような合同での活動が適切なのかを、毎年検討が必要。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

下呂市における部活動について、生徒及び教職員における諸課題は以下のようである。

<生徒>

- ・人数が少なく成り立たない部活動がある。
- ・試合形式練習等に支障をきたす場合がある。
- ・切磋琢磨の関係が築きにくい。
- ・専門的指導が受けられない場合がある。
- ・小さい学校では、部活動の選択肢が少ない。

<教職員>

- ・常に部活動の削減を求められるが行き詰まる。
- ・経験者を配置できない場合が多い。
- ・多くの部活動が顧問一人体制で休みづらい。
- ・人によっては、ストレス、多忙感、教材研究の妨げになっている。

こうした諸課題に対して、今年度から実施した施策は、上記の諸課題に対する下呂市型の地域クラブ展開となる新たな取り組みとして成果が得られた。

●成果の評価

下呂市全体として、明確なコンセプトの決め出しが重要となっている。下呂市では、6中学校全てにおいて、また、地域クラブ全体として以下のコンセプトを明らかにして活動を展開している。

<コンセプト6つの柱>

- ・生徒がやりたいことに挑戦できる。
- ・生徒が専門的な指導を受けられ、競技力などの向上が図れる。
- ・生徒の切磋琢磨できる環境が生まれ、社会性が養える。
- ・やりがいをもった指導者が充実感を味わえる。
- ・誰もが参加できる。（特に経済面）

「下呂市の子どもたちを下呂市の指導者全体で支える」という考えを共有し、上記コンセプトの理解をもとに地域展開することが、学校の枠を超えて生き生きと活動できる生徒たちを支える大切な要因となっている。

●今後に向けて

下呂市の部活動及び地域クラブ展開は、現在、平日と休日の二重構造となっている。各クラブの運営の仕方について、それぞれで細やかな検討が必要である。生徒の連盟登録等の事務的作業、平日と休日の連携の仕方などなど、課題に対して各クラブでの検討を重ねる必要がある。今後も、協議会や校長会、各クラブ指導者との協議を重ねながら、生徒に軸足を置き、現状に合わせた持続可能な下呂市型部活動地域展開の方策を進めていきたい。

アンケート結果・参加者の声

●生徒・保護者アンケート結果

Q.部活動（クラブ）などに積極的に取り組んでいる。

＜A中学校生徒アンケート結果＞

84.7%

（4件法による肯定的評価）

Q 生徒達は部活動において一生懸命に練習している。

＜C中学校生徒アンケート結果＞

4.8（5件法による評価）

Q あなたは、部活動（クラブ）に熱心に取り組みましたか？

＜F中学校生徒アンケート結果＞

3.8（4件法による評価）

Q 目標をもって向かわせ、仲間のつながりを大切にしたい部活動ができている

＜F中学校保護者アンケート結果＞

3.4（4件法による評価）

●保護者の声

生徒数が年々減少している中、合同部活動での他校生徒との交流は、得るものが大きいと思います。今後も生徒数減少が続くかと思いますが、中学生のうちに多くの仲間と交流できるような教育活動をしていただけると社会に出てからも生きると思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

自宅では勉強を自主的にしたりしているし、部活動も休みの日に自主練したりとなかなか感心しております。何事にも、しょうがないって言葉を使わず、こだわってくれたら得るものも大きいと思います。これからもご指導、よろしくお願いいたします。

部活動（クラブ活動）は体験期間を長くする、転部しやすくするなどした方が子どもたちの将来に活かしやすいように思います。中体連の成績も大事かもしれませんが、貴重な中学校生活の3年間をもっと自分を知るための時間に使ってほしいと思います。また、ひいては自分にマッチした部活を選びやすくする方が中体連の成績も良くなるのでは無いかと考えます。

支援の必要な子に対しての支援が行き届いていないように感じます。また、担任制ではないので誰に相談したらよいかわからなく、連絡も少ないので誰に頼ればよいのかがわからない一年間でした。

△△方面のバスですが、夏休みの午前部活後のバスの出発時間が早すぎて乗れません。

地域クラブとクラブの境界が分かりづらく感じます。

2.実証内容と成果③

参考資料（活動写真）



【体幹トレーニング】



【地域クラブとして大会に参加】



【指導者研修会】



【全国・東海大会出場激励会（合同チームが出場）】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

＜運営＞

下呂市教育委員会、学校

＜協議会＞

校長会、教頭会、中体連、市スポーツ協会、市長部局

●経過

令和2年度、下呂市校長会にて、今後の部活動のあり方について検討した。それは、生徒数の減少や、学校規模の縮小による教職員数の減少等により、部活動が成り立たなくなってきたからである。そこで、令和3年から令和5年にかけて、校長会にて検討を重ね、下呂市部活動のコンセプトを設定するとともに、合同部活動の試行、指導者バンクの作成、指導者間の連携、生徒の移動手段の確保、小学校教員の部活兼務者の配置、各種調査、岐阜県や飛騨地域における地域クラブ推進会議への参加、指導者研修会（前後期1回ずつ）の開催等、体制づくりを徐々に進めてきた。

●実施内容

令和6年度は、下呂市内6中学校全てにおいて、休日の部活動の地域展開を開始した。休日の活動の指導者は教職員と社会人指導者がほぼ半々となり、連携を密に取りながら活動を進めてきた。また、どの指導者も部活動ガイドラインに従った適切な指導を行うため、指導者の指導力向上を図るための研修会を年3回実施した。研修会の内容は、「中学生への指導のポイント」、「栄養学（食育）」、「中学生への指導における心理学講座」など、教育的指導の力量向上を意図して研修を設定した。

●実施にあたって生じた課題

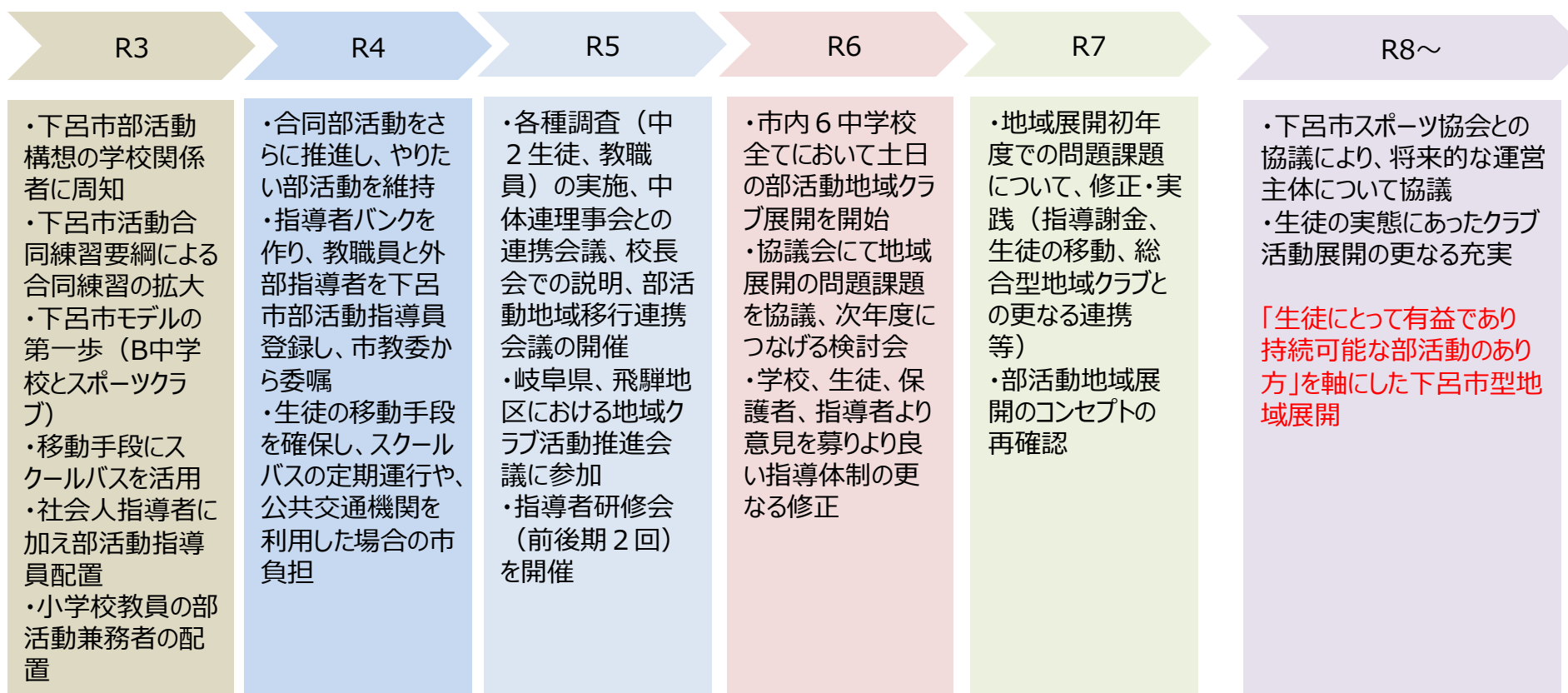
保護者アンケートで、生徒の移動について公共交通機関ではどうしても若干の時間的ズレが生じるという意見があった。できるだけ適切な時間に行き来できるよう活動時間を設定する等の配慮が必要である。

●実施内容、工夫した点等

指導者の研修会は、勝利至上主義ではなく、教育的指導の観点を踏まえての研修を企画・開催した。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

岐阜県 海津市

自治体名：岐阜県海津市

担当課名：文化・スポーツ課

電話番号：0584-53-1536

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	112.03 km ²
人口	31,549 人
公立中学校数	3 校
公立中学校生徒数	763 人
部活動数	24 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置していない
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	設置していない

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

○現状

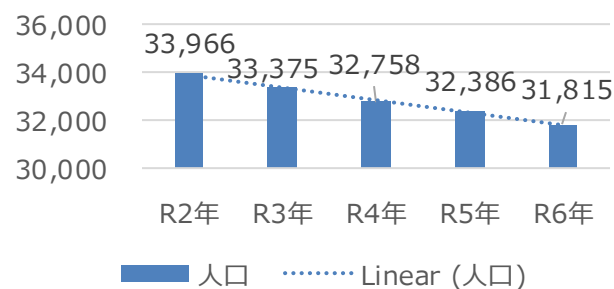
海津市の人口は、1995年まで微増傾向であったが、1995年の41,694人をピークとして減少に転じ、人口減少と少子高齢化が急激に進んでいる。これに伴い、部活動数も減少し、合同部活動が行われている部もある。

また、海津市は東西約13km、南北約17kmあり、生徒は徒歩、自転車、電車を利用して中学校へ登校しており、運動部活動の地域移行を推進するにあたり、活動場所が別の中学校となった場合、生徒の移動手段が問題となる。

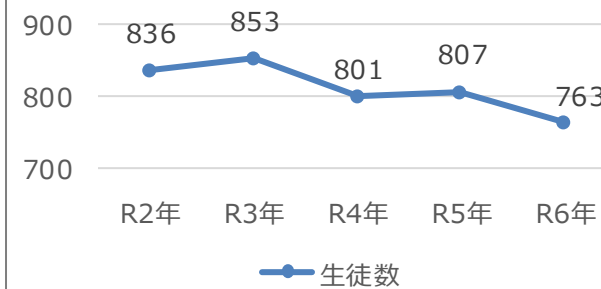
○課題

運動部活動加入者全員が、地域クラブに加入しているわけではないため、中学校からは、部活動で使用している消耗品と、地域クラブで使用する消耗品をできるだけ分けるよう要望が出ている。また、これまで部活動の費用で購入していたユニフォーム（サッカーなどの団体競技）についても、地域クラブで負担して欲しいと中学校から要望も出ており、保護者の経済的負担は増えるばかりである。地域移行により、部活動顧問の72%が土日の負担が軽減したと感じているが、その一方で、保護者は当番や送迎などの負担が増えている。

海津市の人口



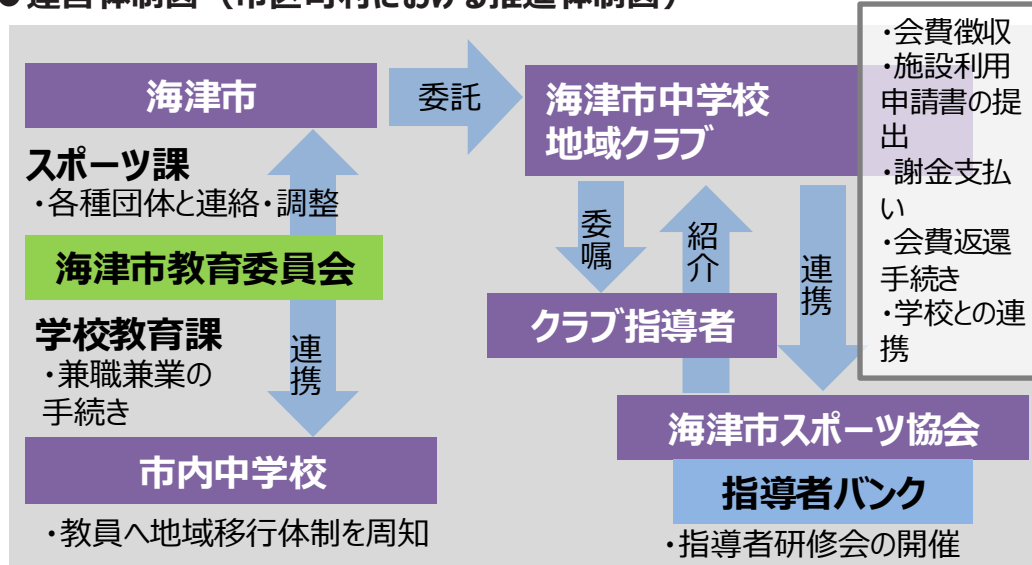
生徒数の推移（市内3中学校）



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎首長部局

- ・休日における運動部活動の推進体制を構築
- ・海津市中学校地域クラブ、市スポーツ協会、中学校との連絡調整
- ・体育施設使用料の免除
- ・施設利用に係る事前予約手続き

◎教育委員会

- ・休日に地域スポーツクラブ活動を希望する教員への兼職兼業手続き
- ・休日の運動部活動の地域移行について、教員への制度周知

年間の事業スケジュール

令和6年4月	・クラブ指導者委嘱状交付
令和6年5月	・入会申込第2次募集（新中学1年生）
令和6年6月	・部活動連絡会 ・クラブ指導者研修会
令和6年12月	・要保護・準要保護世帯への参加費支援について通知（各中学校と連携）
令和7年1月	・新中学1年生を対象とした地域クラブ説明会（各中学校の入学説明会時） ・市スポーツ協会に対して、クラブ指導者紹介の依頼
令和7年2月	・入会・継続申込受付開始（小学6年生及び中学1・2年生）
令和7年3月	・海津市中学校地域クラブ理事会（クラブ指導者決定）

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3 校	実施した地域クラブ総数	19 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		18 クラブ（24 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1 クラブ
全体の指導者数	64人	全体の運営スタッフ数	15 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	日新バスケットボールクラブ男子	月 4 回	午前もしくは午後	全学年	4月1日 ～ 3月31日	中学校又は社会体育施設	2 人	15人 （内、兼務15人）	月会費 1,000 円 年会費 1,000 円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	日新バスケットボールクラブ女子	月 4 回	午前もしくは午後	全学年	4月1日 ～ 3月31日	中学校又は社会体育施設	1 人	15人 （内、兼務15人）	月会費 1,000 円 年会費 1,000 円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	日新バレーボール女子	月 4 回	午前もしくは午後	全学年	4月1日 ～ 3月31日	中学校又は社会体育施設	2 人	15人 （内、兼務15人）	月会費 1,000 円 年会費 1,000 円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	日新ソフトテニスクラブ男子・女子	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日～3月31日	中学校又は社会体育施設	5人	15人 (内、兼務15人)	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	日新野球クラブ	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日～3月31日	中学校又は社会体育施設	7人	15人 (内、兼務15人)	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	日新ソフトボールクラブ	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日～3月31日	中学校又は社会体育施設	2人	15人 (内、兼務15人)	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	日新陸上クラブ	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日～3月31日	中学校又は社会体育施設	2人	15人 (内、兼務15人)	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	平田バスケットボールクラブ男子	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日～3月31日	中学校又は社会体育施設	2人	15人 (内、兼務15人)	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	平田ソフトテニスクラブ男子・女子	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日～3月31日	中学校又は社会体育施設	5人	15人 （内、兼務15人）	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	平田卓球クラブ	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日～3月31日	中学校又は社会体育施設	2人	15人 （内、兼務15人）	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	平田BBC	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日～3月31日	中学校又は社会体育施設	2人	15人 （内、兼務15人）	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	城南バスケットボールクラブ男子	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日～3月31日	中学校又は社会体育施設	3人	15人 （内、兼務15人）	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	城南バスケットボールクラブ女子	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日～3月31日	中学校又は社会体育施設	2人	15人 （内、兼務15人）	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	城南バレーボールクラブ女子	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日～3月31日	中学校又は社会体育施設	4人	15人 (内、兼務15人)	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	城南ソフトテニスクラブ男子・女子	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日～3月31日	中学校又は社会体育施設	5人	15人 (内、兼務15人)	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	城南卓球クラブ男子・女子	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日～3月31日	中学校又は社会体育施設	2人	15人 (内、兼務15人)	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	城南野球クラブ	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日～3月31日	中学校又は社会体育施設	4人	15人 (内、兼務15人)	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	城南サッカークラブ	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日～3月31日	中学校又は社会体育施設	8人	15人 (内、兼務15人)	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
海津市中学校地域クラブ	総合型地域スポーツクラブ	海津バレーボールクラブ男子	月4回	午前もしくは午後	全学年	4月1日 ～ 3月31日	中学校又は社会体育施設	4人	15人 (内、兼務15人)	月会費 1,000円 年会費 1,000円 保険代 800円	春季大会、中体連、新人戦：部活動 その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 指導者研修会を開催
 - 日時 7月29日(月) 19時～20時
 - 内容 熱中症予防について
 - 講師 大塚製薬株式会社 名古屋支店岐阜出張所
ニュートラシューティカルズ事業部 所長 戸崎 寛二 氏

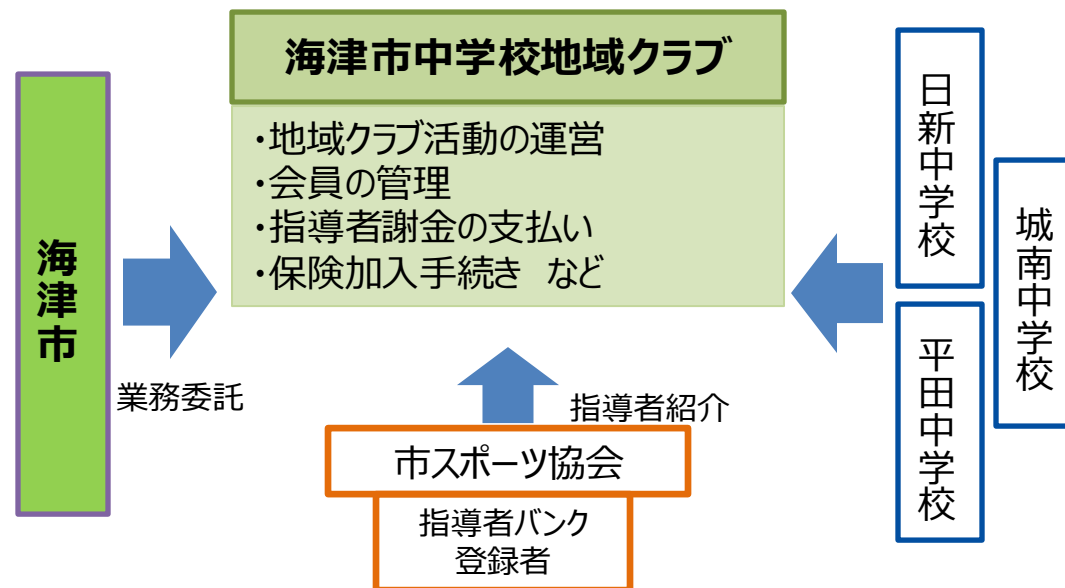
2.実証内容と成果

主な取組例

●海津市中学校地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球、男子ソフトテニス、女子ソフトテニス、男子バレーボール、女子バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール、男子卓球、女子卓球、女子ソフトボール、剣道、サッカー、陸上
運営団体名	海津市中学校地域クラブ
期間と日数	4月1日～3月31日 月4回程度
指導者の主な属性	社会人指導者、中学校教員、保護者
活動場所	日新中学校、平田中学校、城南中学校、南濃体育館など
主な移動手段	自転車、保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	13,800円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 副理事長 2名
役割：学校、指導者との連携を行う
- 会計 1名
役割：会員の管理、指導者謝金の支払い、施設使用申請などを行う
- 指導者
役割：練習日の設定、指導日の報告、保護者との連携などを行う
- 運営スタッフ 15人
海津市中学校地域クラブの事務所において、窓口対応などを行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

各クラブの消耗品及び事務所の事務用品の充実を図り、活動体制の整備を行った。

取組の成果

保護者は、地域移行により、部活動に係る費用と地域クラブに係る費用を負担している現状である。

「部活動加入者＝地域クラブ加入者」ではないため、部活動で使用する消耗品と地域クラブで使用する消耗品を使い分けてほしいと中学校から要望が出ていた。

今回、地域クラブが消耗品を購入することにより、部活動で使用する消耗品とクラブで使用する消耗品を分けて使用することができるようになった。これにより、地域クラブに参加していない生徒の保護者及び中学校の要望に応えることができた。

加えて、各クラブの消耗品を地域クラブが購入することにより、保護者の経済的負担を軽減することができた。

購入した消耗品一例

バスケットボール

バレーボール

ソフトテニスボール

軟式野球ボール

背番号

ラインテープ

テーピング

コーディネーターの具体的な動きの実績

コーディネーターが指導者と連絡調整を行い、クラブで必要な消耗品をリストアップし、クラブ活動の充実を図った。

今後の課題と対応方針

生徒の誰もが地域スポーツクラブ活動に参加できるよう会費を低額に設定し、参加費用負担に配慮している。そのため、各クラブの消耗品及び地域クラブの事務所経費が十分ではないため、今後も継続的な財政支援が必要となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

要保護・準要保護世帯の経済的負担軽減を図るため、該当者の年会費及び月会費を免除する。該当者の保護者は、中学校へ免除申請書を提出し、中学校は該当者であることを確認。地域クラブのスタッフが中学校で申請書を受け取り、免除手続きを行った。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

【令和4年度実績】

パソコン・プリンタ購入費	115千円
事務所電話線等工事費	55千円
コピー機・電話機設置費	46千円
事務用品	67千円
合計	283千円

■ランニングコストの分析

【令和5年度実績】

指導者謝金	3,198千円
事務所スタッフ人件費	1,024千円
謝金振込Web手数料	40千円
電話・インターネット回線使用料	60千円
合計	4,322千円

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

【指導者謝金単価を現状より高とした場合】

謝金単価	受益者負担額 (年間)
1,600円/Hとした場合	39,637円 (月額3,303円)
1,000円/Hとした場合	28,693円 (月額2,391円)

※指導者謝金は、各クラブ2名までとし、1回3時間を上限、月4回までを支給することとする。

【R5年度支出額】 6,334千円

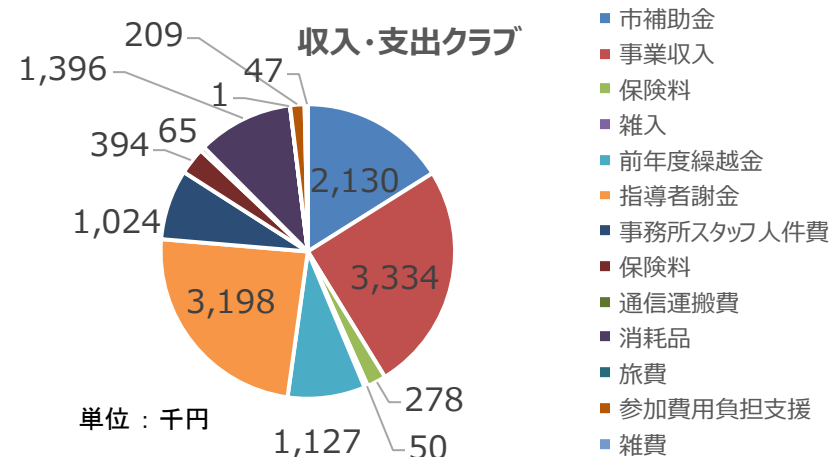
自己財源のみによる運営を目指した場合の受益者負担を算出

(指導者謝金を除いた支出額は
3,136千円)

※指導者謝金は、現状の2千円/3H/回とする。

・会員を300人と想定した場合
会員1人当たりの年間負担額は、
22,613円となる。

収支バランス



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

生活困窮世帯への参加費用を支援することにより、生徒の誰もが地域スポーツクラブ活動を実施できる環境を整備することができた。

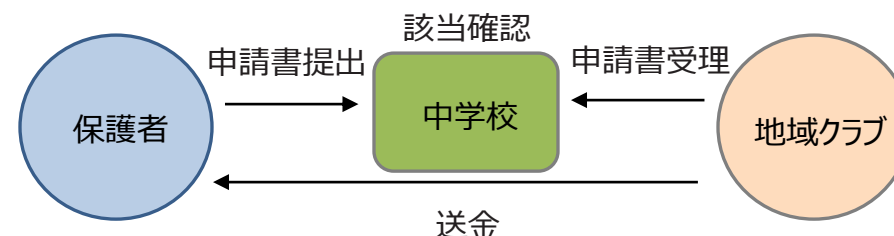
また、保護者アンケートを実施し、「地域クラブの月会費として、適当だと思われる金額」の問いに対して、79%の保護者が現在の月会費1,000円が適当であると回答している。なお、月会費2,000円と回答した保護者は8%、月会費3,000円と回答した保護者は3%であった。

このことから、現在の月会費1,000円を適当であると感じている保護者が一番多いため、月会費の金額設定を高くする場合は、保護者への説明と保護者の理解が必要となる。

<参加費用負担支援にかかる申請者数等>

対象中学校	申請者数/対象者数
日新中学校	2人/3人
平田中学校	15人/15人
城南中学校	10人/10人

<参加費用負担支援体制図>



今後の課題と対応方針

本市においても少子高齢化が進んでおり、生徒数の減少に伴い、地域スポーツクラブ活動を行う生徒数も減少することが予想される。また、休日部活動の地域移行が進む中で、指導者謝金の金額も地域格差が生じることから、指導者謝金の単価を高く設定しないと指導者の確保が困難になることも予想される。今後は、会費設定、指導者謝金の単価設定、自治

体からの財政支援等を考慮し、収支バランスを保ちつつ、かつ、保護者の経済的負担にも配慮しながら、持続可能な運営を目指すことが必要となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



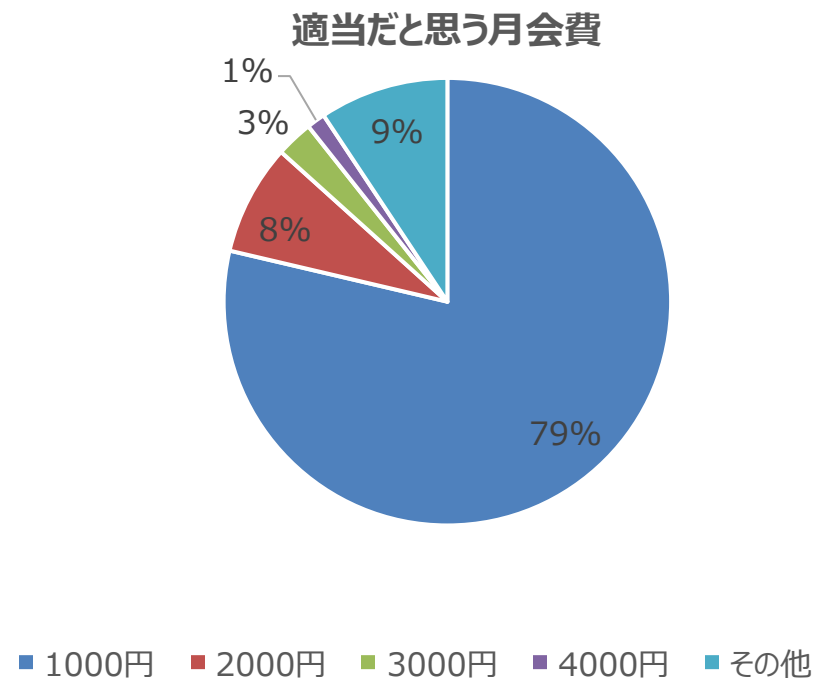
取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

資料

○保護者アンケート調査結果

市内3中学校 1・2年生の全保護者を対象に海津市中学校地域クラブ活動に対するアンケート調査を実施。設問に「月会費として、適当だと思われる金額を1つ選んでください。」に回答した保護者は、グラフのとおりです。



総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

各クラブで使用するボールなどの消耗品の一部を地域クラブが購入することにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。

また、一部ではあるが、部活動で使用している消耗品とクラブで使用する消耗品を使い分けて使用することができ、地域クラブに参加していない保護者及び中学校の要望に応えることができた。

生徒の誰もが地域スポーツクラブ活動を行えるよう、生活困窮世帯への参加費用支援を行った。個人情報に配慮するため、中学校から該当者に申請書を配付し、保護者は中学校に申請書を提出する体制とした。また、該当者であることを中学校が確認し、確認後、運営主体が申請書を受理することで限られたスタッフのみが個人情報を管理する体制を構築した。このように、参加費用負担を支援することで、誰もが地域スポーツクラブ活動を実施できる環境を整備することができた。

●成果の評価

各クラブで使用するボールなどの消耗品の充実を行ったが、生徒に対するアンケート調査では、参加する生徒から、「練習のときに使う道具を増やしてほしい」という回答があったため、十分に活動を行える環境が整っていない現状を把握することができた。

また、保護者に対するアンケート調査において、月会費に関する項目を設けることにより、地域クラブに参加する保護者が月会費として適当であると思われる金額が現状の1,000円を望んでいることを調査することができた。

加えて、部活動顧問に対するアンケート調査からは、休日部活動が地域に移行したことにより、負担が軽減したと72%の部活動顧問が回答しており、働き方改革を推進できていることが明らかとなった。

●今後に向けて

アンケート調査から、各クラブで使用する消耗品がまだ十分ではないことから、今後も生徒が地域スポーツクラブ活動を不自由なく行えるよう、環境の整備が必要となる。

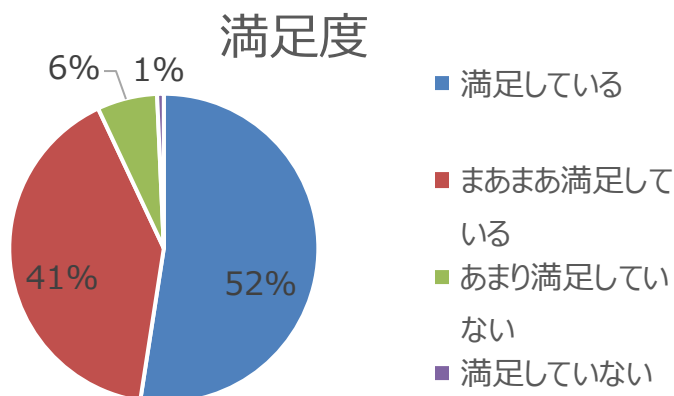
指導者謝金についても、基準単価である時給1,600円を支払っていない現状であるが、保護者が適当であると思われる月会費1,000を設定した場合、会員数確保が必須となり、今後、生徒数が減少する中で会員数を確保することが困難となることが予想される。そのため、市からの財政支援など持続可能な運営を目指すことが今後の課題となる。

2.実証内容と成果②

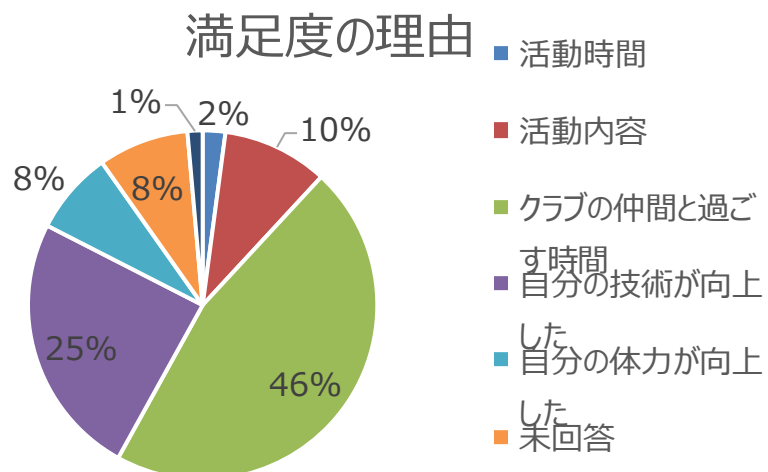
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

Q.地域クラブの活動に、あなたは満足していますか？



Q.「満足している」「まあまあ満足している」と回答した方にお聞きます。
その理由について、あてはまるものを選んでください。



●参加者の声

中学1年生

練習の時に使う道具をもっと増やしてほしい。

中学2年生

他のクラブとの練習試合など交流を増やしてほしい。

中学2年生

練習する日を増やしてほしい。

中学2年生

試合日数を増やしてほしい。

中学2年生

今よりたくさん練習したり、他のチームと交流したりすると、より楽しいし、自分たちの経験値にもなっていると思う。また、一日練習がたくさんできたりするなど、練習時間の確保ができればいいと思う。

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

新中学1年生入学説明会時に海津市中学校地域クラブの説明を行い、
地域クラブの説明と入会申込手続の説明を行っている。

保護者様
海津市中学校地域クラブ
理事長 中野 昇
副理事長 服部 忠久（一般社団法人南濃スポーツクラブ）
副理事長 浅野 弘久（スマイルクラブこん平田）

海津市中学校地域クラブについて

令和2年9月1日付で、文部科学省、文化庁、スポーツ庁より「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」休日部活動の段階的な地域移行が示されました。

海津市では、令和4年5月に「海津市中学校地域クラブ」を発足し、8月から休日部活動の地域移行を行っています。保護者や各関係者の協力を得て、生徒にとって望ましいスポーツ環境等の実現に向けて活動してまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

- 1 クラブ事務所 海津市武道館 事務室
- 2 クラブ開所日時 木曜日・日曜日
18時～21時
- 3 担当クラブ 南濃スポーツクラブは、城南中学校、スマイルクラブこん平田は、日新中学校、平田中学校の地域クラブを受け持つことを基本とします。
- 4 活動場所 原則、土日等休日に活動している現在の場所
(ただし、地域クラブの人数が少ない種目については、他の中学校との合同活動となる場合があります。)
- 5 活動時間 土日等休日のいずれか1日3時間 月4回
(文化クラブは月2回)
- 6 申込方法 申込書を各小学校へ提出
4月から活動したい方は、2月28日（金）までに各小学校へ提出してください。
※今後の申込スケジュールについては、裏面をご覧ください。
年会費 1,000 円、保険料 800 円、活動費月 1,000 円×12 か月
計 13,800 円を年 3 回に分けて集金。（文化クラブは、活動費月 500 円×12 か月）
- 7 クラブ入会費用
- 8 クラブ指導者 海津市中学校地域クラブが委嘱した者
(市スポーツ協会から紹介を受けた指導者等)

【問い合わせ先】
海津市中学校地域クラブ
TEL・FAX 51-0738
(木曜日・日曜日の18時～21時)
E-Mail: chiikiclub@octn.jp

海津市中学校地域クラブ入会申込等について

海津市中学校地域クラブでは、小学校から中学校への移行期間において、切れ目なく活動ができるよう子どもたちのスポーツ等の環境を整備します。

入会申込期限及び集金についてのスケジュールは、次の表を参照の上、手続きをお願いいたします。

【今後のスケジュール】	
内 容	期限等
入会申込の期限	4月から活動する場合 2月28日（金）までに各小学校へ申込書を提出 ※申込をされた方は、小学校を通じて集金袋を配付します。
	部活動を決めてから加入する場合 5月上旬 中学校を通じて、入会申込の案内文書を配付します。
会費の集金	4月のクラブ活動初日にスタッフが集金 ※各クラブの活動場所へ地域クラブ事務所スタッフが集金に伺います。事前に配付した集金袋をご準備ください。
	部活動を決めてから加入する場合 5月中旬 入会申込の案内文書に集金日をご案内します。
地域クラブの活動開始時期	3月中旬に申し込みの場合 4月から地域クラブで活動ができます。
	5月中旬に申し込みの場合 6月から地域クラブで活動ができます。

【生徒への入会説明資料（表面）】

【生徒への入会説明資料（裏面）】

出典:海津市市中学校地域クラブ

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【ソフトテニスクラブ女子：連続1本打ち練習】



【バスケットボールクラブ女子：シュート練習】

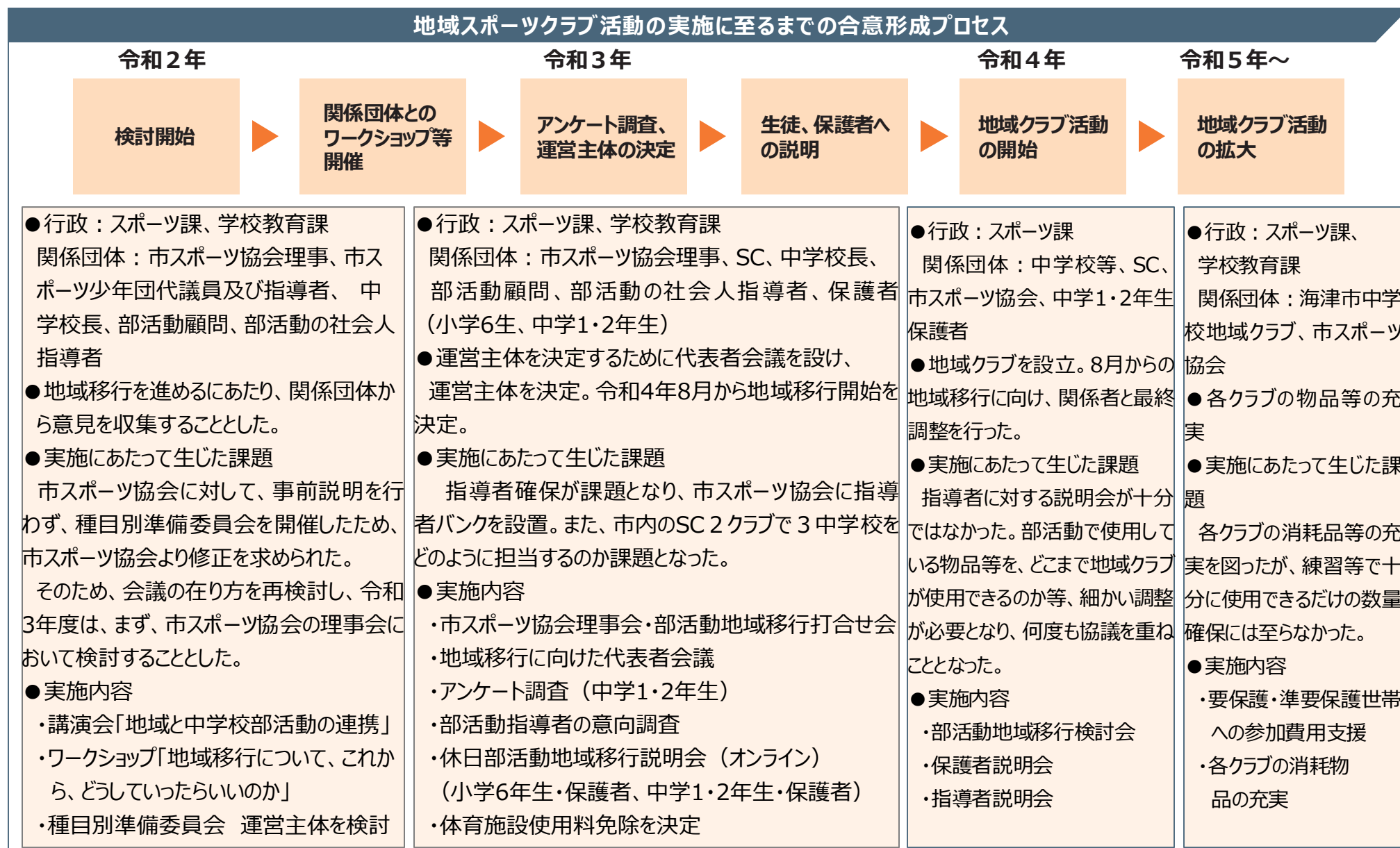


【陸上クラブ：リレー形式のインターバルトレーニング】



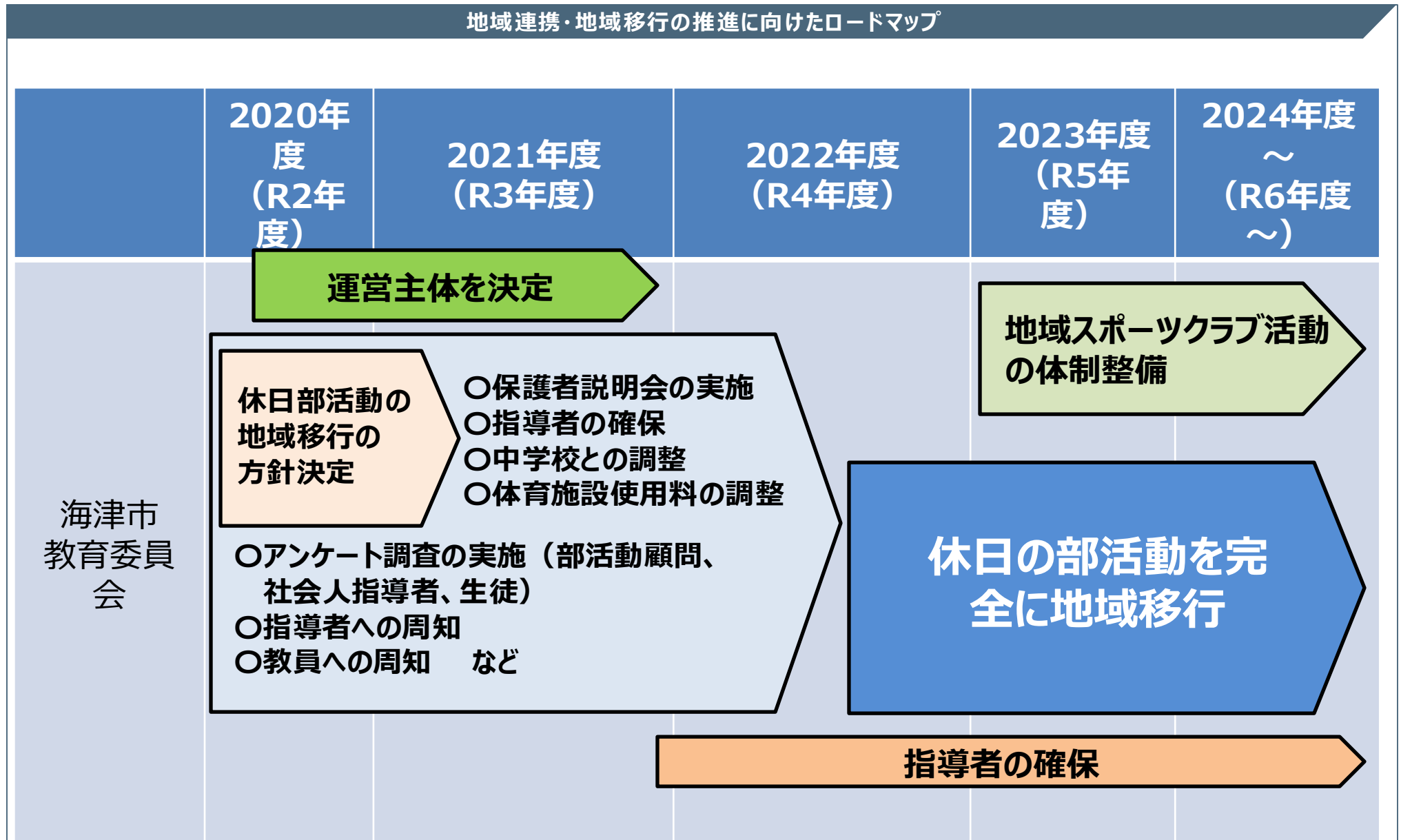
【野球クラブ：ティーバッティング練習】

2.実証内容と成果



3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

岐阜県 養老町

自治体名：岐阜県養老町

担当課名：生涯学習課

電話番号：0584-32-5086

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	72.29 km ²
人口	26,025 人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	687 人
部活動数	27 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	設置済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、当町では、野球部、サッカー部、バドミントン部、バスケットボール部、卓球部、剣道部、柔道部、バレーボール部、ハンドボール部の部活動がある。

深刻な少子化の中、これまで活動していた部活動がチーム編成を形成することができず、令和6年度をもって、休部せざるをえない部活動もある。

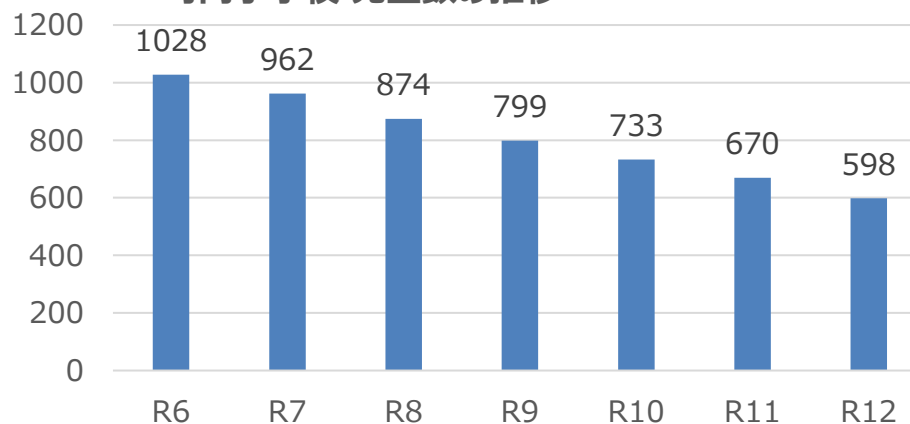
昨今の出生者数を見ると、団体競技の将来的な存続は難しいものと考えている。

改革推進期間である3年間で、生徒の地域

スポーツ活動の機会を確保するため、スポーツ団体や社会人指導者と学校が連携した取り組みを第一に進め、同時に教職員の働き方改革の推進を目標とし地域移行を進める必要がある。

また、長年にわたって部活動は、学校教育の一環で運営するものという考えが生徒、保護者、地域に根付いている。今後、地域移行を進めるにあたり、部活動が教育課程外のものであることを関係者が認識することや、学校の教職員以外の地域内の指導者の確保について進めていかなければならない。

町内小学校 児童数の推移



【課題】

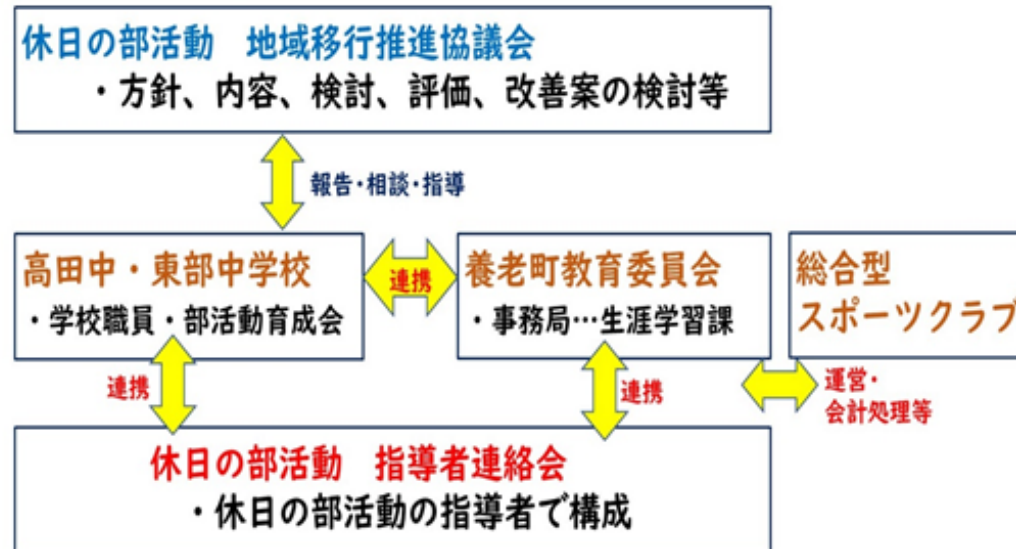
今後の養老町内の児童数を鑑みると、今後減少傾向はますます大きくなることが想定される。

出典：養老町学校のあり方検討委員会の現状報告と取組

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・生涯学習課…部活動改革の主幹、学校との調整・連携、学校に関する事項について運営団体との調整・連携

◎首長部局

- ・企画財政課…予算措置

年間の事業スケジュール

令和6年3月	令和6年度 休日指導継続調査
令和6年4月	令和6年度休日部活動地域 移行開始
令和6年 4月～9月	保護者負担金徴収
令和6年9月	指導月報報告期限
令和6年11月	休日部活動指導者説明会
令和6年11月	新保護者代表説明会
令和7年1月	指導月報報告期限
令和7年3月	指導月報報告期限
令和7年3月	令和7年度 休日指導継続調査

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	2 校	実施した地域クラブ総数	15 クラブ
ケース別クラブ数	A：休日部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		11 クラブ（11 部活）
	B：休日部活動を別の事業体に委託する形態の地域クラブ（スポーツ少年団等）		4 クラブ（4 部活）
全体の指導者数	27人	全体の運営スタッフ数	2 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
休日部活動の地域移行 高田中バドミントン部	町教育委員会が地域団体や地域指導者と連携し運営	バドミントン	月 2 回 ／ 週 1 回	8:00～ 10:00	3年 8 人 2年 10 人 1年 8 人	4 月～1 月	高田中学校体育館	3 人	2 人 （内、兼務 2 人）	年会費約 10,000円 保険料 800円	中体連：部活動
休日部活動の地域移行高田中剣道部	町教育委員会が地域団体や地域指導者と連携し運営	剣道	月 4 回 ／ 週 1 回	9:00～ 11:30	3年 4 人 2年 5 人 1年 4 人	4 月～1 月	高田中学校格技場	3 人	2 人 （内、兼務 2 人）	年会費約 10,000円 保険料 800円	中体連：部活動
休日部活動の地域移行東部中バレーボール部	町教育委員会が地域団体や地域指導者と連携し運営	バレーボール	月 4 回 ／ 週 1 回	9:00～ 12:00	3年 5 人 2年 3 人 1年 1 人	4 月～1 月	東部中学校体育館	2 人	2 人 （内、兼務 2 人）	年会費約 10,000円 保険料 800円	中体連：部活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
休日部活動の地域移行高田中野球部	町教育委員会が地域団体や地域指導者と連携し運営	野球	月 4 回 週 1 回	8:00～11:00	3年 4 人 2年 0 人 1年 6 人	4月～1月	高田中学校	2 人	2 人 (内、兼務 2 人)	年会費約 10,000円 保険料 800円	中体連：部活動
休日部活動の地域移行高田中バスケットボール部	町教育委員会が地域団体や地域指導者と連携し運営	バスケットボール	月 4 回 週 1 回	8:00～10:00	3年 0 人 2年 9 人 1年 8 人	9月～1月	高田中学校体育館	2 人	2 人 (内、兼務 2 人)	年会費約 10,000円 保険料 800円	中体連：部活動
休日部活動の地域移行高田中卓球部	町教育委員会が地域団体や地域指導者と連携し運営	卓球	月 4 回 週 1 回	9:00～11:00	3年 11 人 2年 7 人 1年 7 人	4月～1月	高田中学校体育館	3 人	2 人 (内、兼務 2 人)	年会費約 10,000円 保険料 800円	中体連：部活動
休日部活動の地域移行高田中柔道部	町教育委員会が地域団体や地域指導者と連携し運営	柔道	月 4 回 週 1 回	9:00～11:00	3年 2 人 2年 3 人 1年 7 人	4月～1月	高田中学校格技場	1 人	2 人 (内、兼務 2 人)	年会費約 10,000円 保険料 800円	中体連：部活動
休日部活動の地域移行高田中バレーボール部	町教育委員会が地域団体や地域指導者と連携し運営	バレーボール	月 4 回 週 1 回	13:00～15:00	3年 0 人 2年 9 人 1年 7 人	9月～1月	高田中学校体育館	1 人	2 人 (内、兼務 2 人)	年会費約 10,000円 保険料 800円	中体連：部活動
休日部活動の地域移行東部中野球部	町教育委員会が地域団体や地域指導者と連携し運営	野球	月 2 回 週 1 回	8:00～11:30	3年 4 人 2年 3 人 1年 8 人	4月～1月	東部中学校	2 人	2 人 (内、兼務 2 人)	年会費約 10,000円 保険料 800円	中体連：部活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
休日部活動の地域移行東部中ハンドボール部	町教育委員会が地域団体や地域指導者と連携し運営	ハンドボール	月 4 回 ／ 週 1 回	10:00～ 12:00	3年 7 人 2年 1 人 1年 1 人	4月～8月	東部中学校	1 人	2 人 (内、兼務 2 人)	年会費約 10,000円 保険料 800円	中体連：部活動
休日部活動の地域移東部中剣道部	町教育委員会が地域団体や地域指導者と連携し運営	剣道	月 2 回 ／ 週 1 回	9:00～ 11:00	3年 4 人 2年 2 人 1年 1 人	4月～1月	東部中学校武道場	1 人	2 人 (内、兼務 2 人)	年会費約 10,000円 保険料 800円	中体連：部活動
休日部活動の地域移東部中サッカー部	町教育委員会がスポーツ少年団と連携し運営	サッカー	月 8回／ 週 2 回	9:00～ 12:00	3年 9 人 2年 6 人 1年 3 人	4月～1月	養老スマイルグランド	2 人	2 人 (内、兼務 2 人)	年会費約 12,000円 保険料 800円	中体連：部活動
休日部活動の地域移高田中サッカー部	町教育委員会がスポーツ少年団と連携し運営	サッカー	月 8回／ 週 2 回	9:00～ 12:00	3年 1 人 2年 2 人 1年 1 人	4月～1月	養老スマイルグランド		2 人 (内、兼務 2 人)	年会費約 12,000円 保険料 800円	中体連：部活動
休日部活動の地域移東部中卓球部	町教育委員会が地域クラブと連携し運営	卓球	月 4 回 ／ 週 1 回	10:00～ 12:00	3年 20 人 2年 14 人 1年 0 人	4月～1月	東部中学校体育館	2 人	2 人 (内、兼務 2 人)	年会費約 6,500円 保険料 800円	中体連：部活動
休日部活動の地域移東部中柔道部	町教育委員会が地域クラブと連携し運営	柔道	月 4 回 ／ 週 1 回	8:30～ 11:00	3年 6 人 2年 2 人 1年 2 人	4月～1月	東部中学校武道場	2 人	2 人 (内、兼務 2 人)	全額個人負担	中体連：部活動

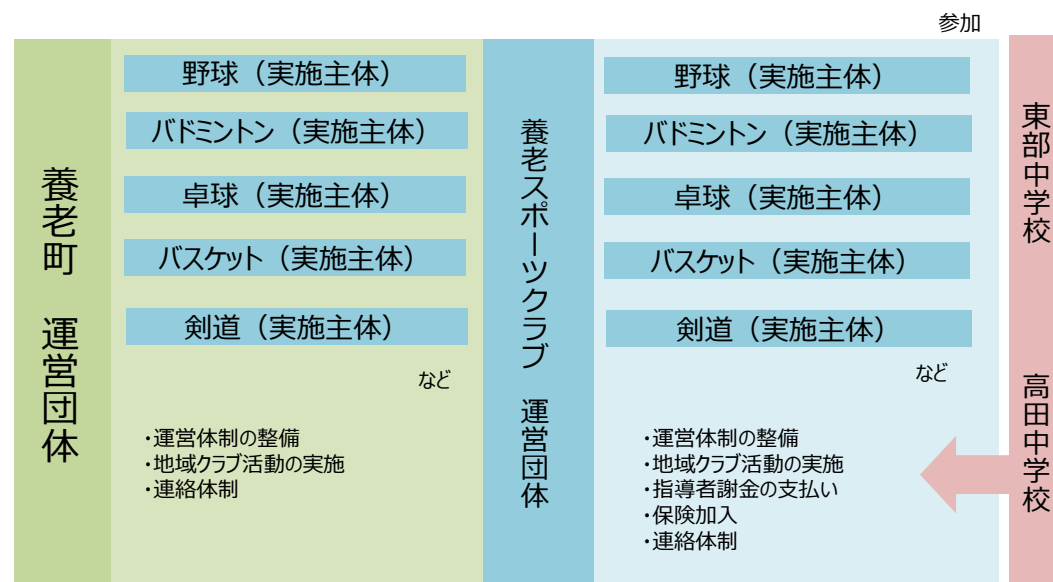
2.実証内容と成果

主な取組例

●休日部活動の地域移行 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	野球部、バドミントン部、バスケットボール部、卓球部、剣道部、柔道部、バレーボール部、ハンドボール部
運営団体名	養老町教育委員会、養老スポーツクラブ
期間と日数	令和6年4月～令和7年3月
指導者の主な属性	中学校教員、会社員
活動場所	東部中学校、高田中学校
主な移動手段	自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	年間約10,000円（変動あり）
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 休日部活動指導者 27名
役割：活動における責任者として、学校、保護者との連携を行う
- 運営業務従事者（養老スポーツクラブ） 1名
役割：活動における主任者として、休日部活動指導者への連絡を行う
- 運営業務従事者（養老町） 1名
役割：活動における養老スポーツクラブの補助を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

休日部活動の地域移行を安定的に継続していくには、事務局側の体制を整備することが必要である。学校と休日部活動指導者との連絡調整のほか、会計処理等の事務処理が増えることが想定されるため、運営面に関する事務局員の人件費、運営にかかる事務費を支援することで持続的かつ安定的な事務局運営が整備することが可能となる。

取組の成果

○総合型地域スポーツクラブとの効果的な連携を図ることで、町が課題としていた運営面に関する体制の整備など、持続可能な運営ができる組織体制の整備に寄与することができた。具体的には指導者から提出される指導月報の確認作業や謝金支払いのための書類作成、保護者の負担金の取り扱いなどを行い、総合型地域スポーツクラブが町と共に運営団体となることで、運営面に対する整備ができた。

○安定的な組織体制を形成するため、広く町民や団体に休日部活動の地域移行事業を知ってもらうことが重要であると考え、町スポーツ連盟や保護者代表者向けに休日部活動の地域移行事業について説明会を行った。説明会では、指導者に求めている要件の説明やこれまでの部活動との変更点の説明を行い、積極的に情報共有を図った。その結果、これまでに地域移行していなかった2部活が保護者会で新たな休日部活動指導者となる人材を確保することができ、地域移行に繋げることができた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

【コーディネーター】

- 岐阜県各市町の休日部活動の地域移行の情報の提供
- 約3か月毎に町を訪問し進捗状況の把握・ヒアリング・助言等を実施

今後の課題と対応方針

○事業を安定的に実施できるような運営マニュアルの作成や、責任の主体の明確化に関する規程が不十分である。今後は活動中の生徒同士のトラブルや事故等の対応を含む管理責任や賠償責任の主体を明確にし、学校、休日部活動指導者、保護者の方などと共通理解を図っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

生徒にとってふさわしい地域スポーツ環境を整備するためには、専門性や資質・能力を有する地域指導者を、安定的に確保する必要がある。現状、全ての地域クラブに対して地域指導者が配置されているわけではないため、報酬の一部を支援することで、安定的に指導者が確保することが可能になる。

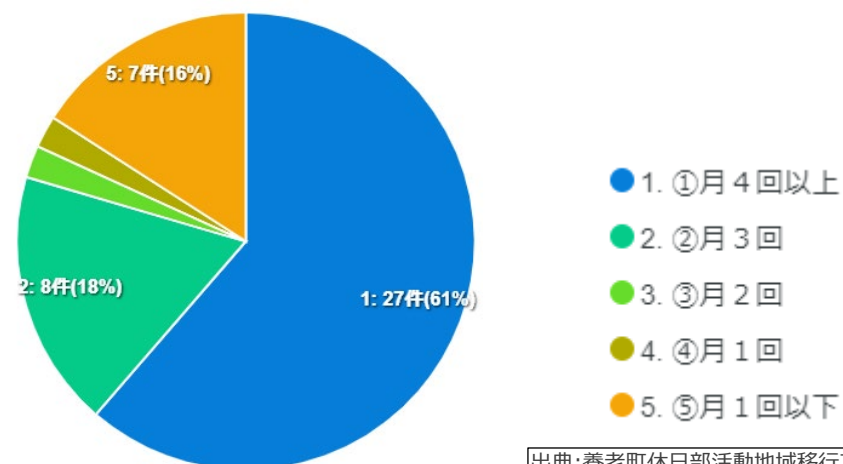
登録者属性		種目	資格有無
10代	0名	野球部、サッカー部、バドミントン部、バスケットボール部、卓球部、剣道部、柔道部、バレーボール部、ハンドボール部	公認スポーツ指導員やライセンス資格等
20代	2名		
30代	9名		
40代	7名		
50代	3名		
60代以上	6名		

取組の成果

参加した中学生44人を対象としたアンケートの結果、回答者の約80%が月2回以上休日に地域クラブ活動に参加していると回答している。町では円滑に地域移行が進むよう、移行期間中は顧問の先生の参加を月に2回までに制限しているため、これまでに課題となっていた教員の部活動への参加負担を少なくすることができた。

一方で、指導者の数が十分ではない部活動の場合、指導者にかかる負担が大きく、クラブ活動が実施されない場合や保護者見守りによる活動で指導者からの指導が受けられない場合など課題も見つかった。

Q 所属している部活動または地域クラブで、休日の活動回数を教えてください



出典：養老町休日部活動地域移行アンケート

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

休日の部活動指導者連絡会

1. 開会あいさつ
2. 休日の部活動の地域移行について
3. 休日指導者に求めたいこと
4. 休日の部活動について
5. スポーツ事故対応について（DVD鑑賞）
6. 質疑応答

生徒や保護者から賛同があり学校からの推薦があった方に対して、休日部活動指導者連絡会を開催する。これまでの部活動との違いや休日部活動を指導される指導者の方へ町として求めたい点を説明する。また、万が一のケガに慌てないようにスポーツによる事故対応のDVD鑑賞を実施。

新規指導者研修の参加実績

- ・開催日： 11月 14日
- ・開催回数： 1回
- ・案内人数： 6 人

受講者の声

○これまでの学校部活動と地域クラブ活動との違いについて理解することができた。また、スポーツ事故は初動対応が不可欠であるため、適切に対処するための正しい心臓マッサージのやり方やAEDの使い方など学ぶことができた。

○鍵の管理を自分達で行い、顧問の先生が不在の中でも指導することができることを学ぶことができた。

○練習メニューの決定など顧問の先生や生徒の意見を聞きながら過度な指導にならないように心がけていきたい。

○活動時間や体育館施設の予約について学ぶことができた。

今後の課題と対応方針

地域指導者の多くが仕事をしているため、夜の時間帯に会議を設けたが、中々参加できない人も多かった。今後はあらかじめ参加できる日にちを確認することや、仮に欠席の場合でも資料の内容や参加者からの質問が分かるような資料を作成し、「学校を含めた地域の1人1人が子どもたちの活動の機会をなくさないよう活動していく」という責任感を指導者に芽生えさせられるような連絡会にしていきたい。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

深刻な少子化の中、部活動における部員数は減少しこれまでの部活動の形態を維持することが難しくなっている。また、教員の働き方改革が進む中、顧問となることができる教員数の減少など部活動を取り巻く環境は大きく変化している。このままでは、生徒が部活動をやりたいと希望してもやりたい部活動が廃部となり、部活動を継続的に実施することが困難になってしまうという課題があった。

課題解決のために、教育的意義のある部活動の良さを残し、生徒の地域スポーツ活動の機会を確保するため、学校単位から地域単位で実施する持続可能な方策を構築していくことが急務となっていた。学校運営協議会会長、各中学校校長等で構成される「休日の部活動地域移行推進協議会」を設置し、保護者の負担金の設定や休日部活動指導者への謝金額を決定し、令和5年度から令和7年度の3年間で休日に実施する本町中学校部活動を地域移行することを目標に休日部活動の地域移行の取り組みを開始した。

●成果の評価

国事業（事業実証）を活用し、顧問に代わり、地域の指導者が生徒を指導する休日部活動の地域移行を進めた。地域指導者と生徒間の連携をアシストするため、移行期間中は顧問の参加を月に2回に設定し、休日部活動指導者と学校の双方が連携して休日部活動の地域移行に取り組むことができるよう事業を実施した。その結果15の部活動が休日部活動の地域移行を開始することができた。

運営面では、養老スポーツクラブが町と共に運営団体となることで、運営体制の整備や休日部活動指導者謝金の支払い、保険加入など支援業務を委託し持続可能な運営ができる組織体制を整備することができた。

●今後に向けて

改革推進期間3年目となる令和7年度は、令和4年度から令和6年度にかけての取組を精査し、休日の部活動地域移行推進協議会にて、休日部活動の地域移行の完全移行ができるかどうかを含めて検討する。

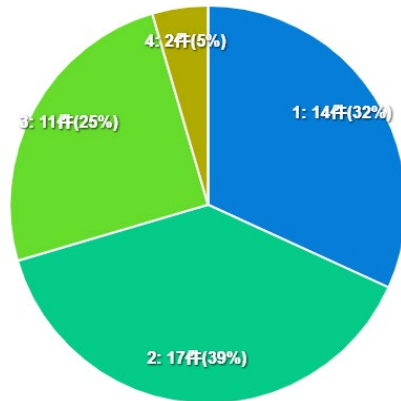
また、部活動ごとに休日部活動指導者の数に開きがあることから、引き続き休日部活動指導者が不足している部活動に対し、指導者になっていただける方の確保を学校及び保護者だけでなく、教育委員会も積極的に募集を呼びかけていく必要がある。

2.実証内容と成果②

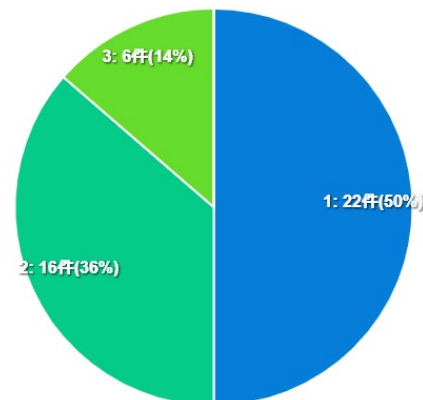
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

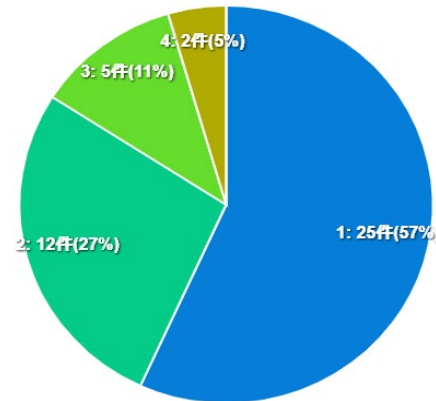
Q 顧問の先生や指導者に日々の活動の努力を認めてもらえた



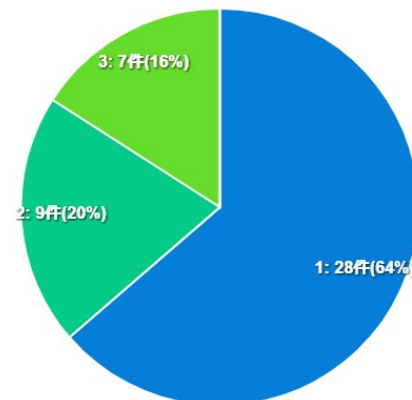
Q.技術を身につけることができた



Q クラスや学年を超えた友人・交流ができた



Q.スポーツ、文化芸術を楽しむことができた



●参加者の声（地域移行に関して）

中学2年生など

- 地域の人から詳しく教えてもらえる
- 普段からコーチやコーチの所属するチームの大人が来てもらえるためあまり気にしてない。

指導者（など）

- できる子ども、できない子どもなど、子どもの能力の個人差に配慮しながら取り組むことができた。
- 他の子どもと比べることなく、その子の良い点をみつけ褒めてあげることができた。

- 1. ①大変そう思う
- 2. ②やや思う
- 3. ③どちらともいえない
- 4. ④やや思わない
- 5. ⑤まったく思わない

出典:養老町休日部活動地域移行アンケート

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

令和7年1月16日に新たに東部中学校、高田中学校に入学する小学6年生の保護者に向けて休日部活動の地域移行について説明会を行った。これまでの部活動との変更点や持続可能な体制整備のための保護者への

負担金の徴収の点について説明をした。参加は任意であるが、一人でも多くの人がスポーツや文化に携える機会をなくさないように参加の呼びかけを行った。

養老町教育委員会

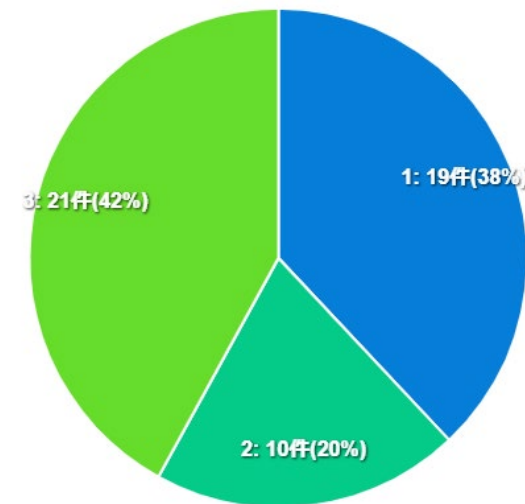
休日部活動の地域移行について

①地域移行の必要性について ・深刻な少子化の進行による部員数の減少、生徒のニーズの多様化 ・顧問となることができる教職員数の減少、教職員の大きな業務負担 ⇒学校単位での部活動の実施が困難（持続不可能）		⇒部活動を学校教育から社会教育の一環へ ⇒スポーツ団体や指導者等と学校が連携し、持続可能な体制へ。 （地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる）																														
令和4年6月「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」 令和5年3月「岐阜県中学校活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」																																
②地域移行の方向性について ◎移行は10月より開始 ※運動部活動から 月～金・・・これまでどおり部活動として部活動顧問が指導。 休 日・・・休日部活動の指導者（※地域指導者）が指導。 ※部活動顧問による指導・保護者の見守りもお願いする場合があります。 ※地域移行後の休日部活動への参加は任意となります。		⑤地域移行するための運営経費について ①指導者への報酬・・・※2.1回につき1,500円 ②スポーツ安全保険・・・1,800円/年<指導者> 800円/年<生徒> ※2…指導者への報酬上限は、1回の活動につき2名までとなります。																														
③段階的な休日部活動の地域移行 <将来的にAへ> A 休日の練習、練習試合、大会等すべてを地域指導者が指導。 B 休日の練習は地域指導者が指導。大会等は部活動顧問が引率。 C ※1.すべてを部活動顧問が指導・引率。（地域指導者がいない場合） ※1…ただし、部活動顧問の参加については、月2回が目安となりますので、活動日数は減ることとなります。		⑥保護者の費用負担について ・保護者費用負担額・・・※3.10,000円/年 ・スポーツ安全保険・・・800円/年 ※3…この費用は指導者の報酬を支払うためのものです。（部費等は別途必要）																														
④休日部活動の指導者について ◎要件：1. 専門性 2. 教職員との連携 3. 部活動の役割の理解 <生徒・保護者の賛同⇒学校が推薦⇒教育委員会が承認> ・休日の部活動指導者として承認された方には、「休日部活動の指導者連絡会」に所属いただきます。※保護者、教職員が休日の部活動指導者に登録可。		⑦これまでの部活動からの変更点について 1. 教職員の部活動への参加は ※4.月2回 2. 休日の部活動においては ※5.2人以上の指導者で ※4…今後も段階的に教職員の参加日数は減ります。 ※5…保護者の方の見守りをお願いする場合があります。																														
⑧活動回数について 原則土日のいずれか1日・1回3時間まで		⑨費用負担の今後のスケジュール <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">令和5年度</th> <th colspan="3">令和6年度以降</th> </tr> <tr> <th>4月～9月</th> <th>10月～3月</th> <th>卒業</th> <th>4月～8月</th> <th>9月～3月</th> <th>卒業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3年生 現行どおり</td> <td>※集金なし</td> <td>3年生 4,000円</td> <td>※集金なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2年生 5,000円</td> <td>5,000円</td> <td>2年生 4,000円</td> <td>6,000円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年生 5,000円</td> <td></td> <td>1年生 3,000円</td> <td>6,000円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※5月入部予定のため減額	令和5年度			令和6年度以降			4月～9月	10月～3月	卒業	4月～8月	9月～3月	卒業	3年生 現行どおり	※集金なし	3年生 4,000円	※集金なし			2年生 5,000円	5,000円	2年生 4,000円	6,000円			1年生 5,000円		1年生 3,000円	6,000円		
令和5年度			令和6年度以降																													
4月～9月	10月～3月	卒業	4月～8月	9月～3月	卒業																											
3年生 現行どおり	※集金なし	3年生 4,000円	※集金なし																													
2年生 5,000円	5,000円	2年生 4,000円	6,000円																													
1年生 5,000円		1年生 3,000円	6,000円																													

【生徒への参加啓発チラシ】

出典:養老町教育委員会

【休日の部活動の運営が学校の先生から地域の人へ変わっていくことを知っていますか。】



- 1. ①知っている
- 2. ②聞いたことはあるが、詳しくは知らない
- 3. ③知らない

【アンケート結果】

出典:養老町休日部活動地域移行アンケート

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



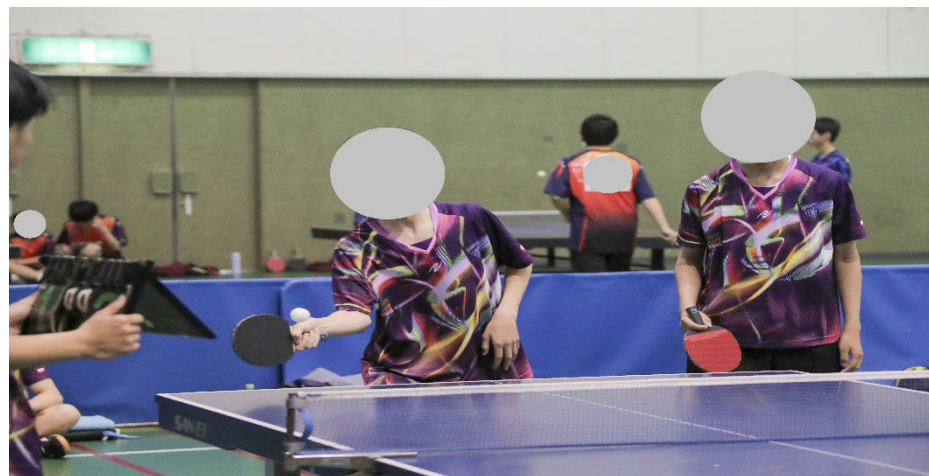
【試合中タイムアウトでの様子】



【剣道の試合の様子】



【試合中のミーティングの様子】



【卓球大会の様子】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

養老町、養老町教育委員会、各中学校、養老スポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）、保護者、コーディネーター

経過

令和4年度「休日の部活動地域移行推進協議会」を3回実施し、求める指導者や保護者負担金額、指導者謝金額など休日部活動地域移行事業を進めるうえで必要となる経費を検討し、基本計画を策定した。令和5年度は主にスポーツ少年団、各中学校のPTA役員会、保護者育成会などで休日部活動の地域移行について事業の周知と協力依頼した。また、これまで中学校から派遣されていた指導者に対し、休日部活動指導者連絡会を開催し、学校部活動と異なる点や、休日部活動指導者が生徒を指導していく上で重要な点などの説明を行った。

実施内容

令和5年10月から生徒・保護者から賛同があり、かつ学校の推薦のあった指導者による、休日部活動地域移行が段階的に開始された。円滑に地域移行が進むよう移行期間中は顧問の参加を月に2回に設定し、休日部活動指導者と学校の双方が連携して休日部活動の地域移行に取り組むことができるよう事業を実施した。令和6年度からはこれまで町が担っていた運営団体を総合型地域スポーツクラブである「養老スポーツクラブ」が町と共に運営団体となることで、運営体制の整備や指導者謝金の支払い、保険加入など支援業務を委託し持続可能な運営ができる組織体制を整備することができた。

今後の課題と展開

持続可能な運営団体の体制整備のため、継続して指導できる地域指導者の確保に引き続き取り組んでいく。その他、十分な指導者を確保できていない地域クラブの指導者を確保するために広報等を活用し地域指導者の募集に取り組んでいく。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	令和4年度～令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
町	休日の部活動地域移行推進協議会（保護者負担金の決定、指導者謝金額の決定、ルール作り等） 保護者代表、指導者説明会の開催、補助申請 課題への対応（休日指導者の募集・確保） 移行期間後の事業検討			
各中学校	PTA、教員への周知	指導月報の確認、学校施設の適切な管理の把握・保護者相談 教員への兼職兼業の希望依頼・提出		
養老スポーツクラブ	休日部活動の地域移行事業に関する周知 保護者負担金の徴収、休日指導者への謝金支払い、補助申請等 課題への対応（地域移行問い合わせ対応）			